新京日日新聞
夕刊
十一月九日
本紙定價 一部五錢
發行所 新京永樂町四ノ 新京日日新聞社

現銀の中央輸送に 西南派も反對を表明

財政を中央に隷屬せしめるもの 李宋仁氏も同一歩調

【上海九日發國通】幣制改革に對する西南側の態度は各方面から重視されてゐるが確聞する所では陳濟棠氏は現銀を中央に輸送するは廣東財政を中央に隷屬せしめ延いては廣東の特殊地位に動揺を來さしめ、政治的にも中央の統制下に否應なしに引入れられるとの見地より現金を省銀行に集中するも中央輸送は絶對行はぬ事に決し廣西の李宋仁氏も陳濟棠氏と歩調を一にするに決定を見たと

今回の幣制改革は 自力更生の手段

丁參事官、重光次官に釋明

【東京國通】今回の英支借款成立說に關し六日クライブ大使が外務省を訪問、英國側の立場を說明

諒解 を求むるところあつたが八日午後四時半には駐日支那大使代理丁參事官が重光次官を訪問し

今度の幣制改革は國民政府自身單獨で考慮の上決定、實行したもので汪精衞氏兇變發生以來變動を來した財界の危機に對し急場の手當をなすべく自力更生の手段を以つてしたに過ぎない、何等事前に外國側と借款其他の話があつて決定したものでない、偏へに國內通貨の安定を目的としたものであるから諒承されたい

とて幣制改革を急遽實行の已むなきに至つた事情を詳細に說明し斷行後の情勢に就ても種々報告をなし我國を出拔いたものでない所以を極力釋明するところあつた

右に對し重光次官は

幣制改革に關する支那側の決定並にその態度は如何にも支那側が外國を巧みに操縦してゐる感がないかゝる感想は獨り日本人のみでなく世界一般に印象づけて居る事は事實である、之は單に貴國が不利益であるばかりでなく隣邦日本としても誠に遺憾至極だ

と日本との密接なる協調連絡の要を强調し、日支親善を東亞の安定の基礎とする帝國政府の見地より

將來 に向つて反省を促した、丁參事官は曩の釋明を繰返して陳辯之に努めた後

財政建直しは自力でやると決意したものであるが何分にも我財政の前途は到底樂觀し得ない事態にあるを以て日本の好意的援助を願ふ

旨を述べた、重光次官は意見を留保し愼重事態の推移を注視しつゝ態度を決定すべき旨を述べたもの、如くで更に種々重要意見の交換をなした

上海附近に 軍隊移駐 行動關心の的

【上海八日發國通】過般來蘇州無錫一帶の鐵道沿線に七、八萬の中國軍隊が集結したことについては各方面に多大の關心を持たれてゐたが、蔣介石統率の下に一大演習を行はんとするものであるとの說が行はれると共に狼狽した國民政府は大演習擧行にあらず軍の移駐のみと發表してお茶を濁してゐた、然るに右軍隊は一向に移駐する形勢なきばかりか次第に上海近郊に接近しつゝあり上海市民の不安を大ならしめてゐる十一月四日には龍華及び佛租界に兵一團機銃一連が到着したといはれて居り既に上海市內も相當の便衣隊が潛入してゐる模樣である、その目的は五全大會に對する警戒時に今回の幣制改革實施に伴ふ騷擾及反政府的言論彈壓のためだと云はれてゐるが我當局では事態の推移に多大の關心をはらつてゐる

伊軍マカレ占領

【ローマ八日發國通】イタリー政府は八日午前公報をもつてイタリー軍のマカレ占領を發表した

川岸本部隊長傷癒え 討伐指揮に出動

赫々たる過去の討伐成果

九月末赤峰部隊檢閲中奇禍に遭ひ受傷入院中であつた川岸本部隊長は漸く傷癒え十月末退院愈々討伐隊を直接指揮すべく六日朝陽に討伐司令所を進めた、十月初旬來川岸本部隊の討伐成果は大小交戰回數四十一回に及び此等の戰鬪に於て匪賊の遺棄死體七百十八捕虜九十又匪馬を斃すこと二百四十七、鹵獲品としては匪馬二百六十八、小銃百五十四拳銃五十六、小銃、拳銃彈一萬二千發餘、輕機關銃五、重機關銃二、迫擊砲四、同彈藥二百等の夥しき數に上り、且つ人質の奪還實に九十二名の多きに達した、之により斯の劉匪を謝字杖子の一戰に擊滅して朝陽南方匪賊地帶に匪影を沒せしめたるのみならず朝陽北方地區に隱然一王國を形成してゐた欒匪をして四散屛息するの已むなきに至らしめ治安の肅正當に近きにある、併此が爲我が犧牲も斯の前田小川兩大尉等を初めとし戰死十一名、負傷廿五名の多きに上つてゐる（寫眞は川岸本部隊長）

御風氣のため

御野立所御統監は御取止め

【鹿兒島國通】大元帥陛下には御風氣の爲杉山參謀次長以下大本營關係者や早川知事へ拜謁を賜る御豫定は御變更遊ばされ大本營三階北面の御座所で御靜養、午後二時半岩本市長捧呈の上表は湯淺宮相より御前へ捧呈申上げた、御風氣に宮相、侍從長以下側近者は非常に恐懼し御統監日程を協議の結果 九日御野立所で御統監の御豫定は御取止めと決定申上げた

本多行幸主務官 謹話

【鹿兒島國通】本多行幸主務官謹話 八日午後四時半發表 天皇陛下には御豫定通り大本營に入御遊ばされたが、御發輦前御輕微の御風氣にあらせられ橫須賀御發港の際冷い雨の中を甲板に御出まし遊ばされた爲か御熱が拜されました、その後御經過よろしく御心配ないと存ぜられます、明日の御豫定は尙多少御靜養のため取敢へず大本營で御統監あそばされることになりました

菊池侍醫 鹿兒島へ 拜診のため

【鹿兒島國通】大元帥陛下を御拜診の爲急遽東京を發した耳鼻咽喉科侍醫菊池博士は九日午前七時當地着の豫定であるが 天皇陛下には殊に御氣分よろしき御樣子にて博士が到着しても最早別段御用はないと拜聞される

辭職勸告 ビラを 名古屋で撒く

【名古屋國通】大演習陪觀のため西下せる岡田首相は八日午前六時四十二分名古屋驛着驛頭で總辭職勸告のビラまき犯人現はれて緊張したが無事自動車で萬平ホテルへ投宿、熱田神宮參拜後九時五十二分名古屋發で伊勢神宮參拜のため宇治山田へ向つた

鮮・中銀の業務協定 短時日に纒らう

十一日より業務協定會議

【東京國通】既報鮮銀、中銀兩行の業務協定會議は愈々十一日より開始されることゝなつたので八日午後津島大藏次官は加藤鮮銀總裁、鷲尾中銀理事の兩行代表者を大藏省に招き

圓滿 なる協定の成立を希望するところあつたが今回の具體的細目協定は案外短時日に纒るものと觀られてゐる、而して協定の骨子は今後の日滿爲替安定等價維持方策にあるものと觀られ等價維持の動搖不安を招來する如き操作に對する善後措置例へば上海に於る投機的操作等に對しての愼重な動搖防止策の協議が中心問題と觀られその他國幣流通强化、鮮銀券の漸次的撤收に伴ふ諸般の業務上の打合せが遂げらるべく、尙右の大綱方針實施後の營業も成るべく圓滑ならしむべきやう協議が進められる筈である、尙交涉委員には鮮銀より色部、橫瀨兩理事

中銀 より鷲尾理事出席、大藏省側よりは伴野鮮銀監理官がオブザーヴァーの資格で會議に臨む事となつた

匪賊頭目歸順

舊北鐵東部線一帶に蟠居し綠林王として君臨全盛時代は部下五千を有し暴威を振つてゐた五省は十月二十四日より十一月八日に亘り一面坡及び烏吉密河奧地に於て老鳳林、仁義軍、南洋、北龍、白龍、靑山等の頭目と共に合流匪一千名を從えて苇米木〇〇地區防衛隊配屬憲兵に無條件歸順した

【寫眞は前列右より二人目南洋、三人目五省、坂本憲兵特務曹長、吳貴臣、靑山】

軍縮全權一行 十八日來京

軍縮全權一行は十八日午後九時來京同十一時ハルビンに向ふ豫定

治廢幹事會

治外法權問題に關する幹事會は九日午前九時三十分より關東軍司令部會議室に於て開催されたが本日は主として滿鐵地方部關係の問題が討議される筈である

本年度滿洲國產金量 一千萬圓突破

ゴールドラッシュ時代近し

朝鮮の產金量が年一億圓と傳へられる折柄、新興滿洲國の產金量如何は俄然各方面の注目を惹くに至つたが最近各方面の情報を

綜合 するに本年の滿洲產金量は一千萬圓は絶對下らぬと推定されてゐる、即ち滿洲採金會社の成績をまづ見ると本年一月以降八月迄に百八十一萬圓の收穫あり、その中六十萬圓は八月だけの收穫で以降十二月迄は一ケ月平均五十萬圓の收穫が豫想されるから同會社のみでも本年度は三百六十萬圓は固いところだと云はれ、更に一般產金業界を見ると全滿に從業員が一萬五千人以上有るから從來の實績に徵しこの收穫は七百五十萬圓內外と推定するも無理ではなく、以上の合計を內輪に見積つても一千萬圓は動かぬところで一方中銀の一月以降八月までの產金買上概算が六百萬圓を突破してゐるに照し大體に於て前述の產金量が首肯されるに至つてゐる、更に遡つて舊政權時代の產金狀態を回顧すると目茶苦茶な濫掘時代が久しきに亘つて續いた爲め年平均一千萬圓、就中一八八二、三年頃はロシアの東漸で莫河附近は年產三千萬圓あつたといはれ聊か今昔の感なきにしもあらずだが然し滿洲建國以來半官半民採金會社の統制秩序ある

採掘 に依つて一時減少してゐた採金量は頓に增加の途を辿りつゝあり、從つて滿洲國は朝鮮に比肩するに至らないまでも往年の滿洲を凌いで科學に立脚せる堅實なゴールドラッシュ時代を招來する日は遠くあるまいと觀られてゐる

滿鐵 職業紹介所

廿一日で一週年を迎へる 十月の就職者九十一名

〔新京〕特別市北安路滿鐵職業紹介所十月中の成績を見ると求職者百二十名教育程度の內譯は

大學卒一〇△專門學校七△中等學校五四△高等小學校四六△尋常小學校一二

でこのうち就職したもの九十一名で其の率は七割五分强といふ好績を示してゐる、就職の內譯を見ると

工鑛一△土建五△商業二〇△通運六△戶內一一△雜務一八

で男女別は戶內十名の女子を除けば全部男子である、なほ同紹介所內の簡易宿泊所にはやがて襲ひ來る酷寒を前に今日はあるか明日はあるかと就職口に淡い望みをかけて焦燥の日を送つてゐるものが九十名ゐるが同所小野寺主任は

目下宿泊してゐる者を今月中には何とか就職させたいと思つて一生懸命各方面に勤め先を開拓してゐます、今居る者は殆んど最近に職を失つたもので內地からの新渡來者は一人も居ませんが何處へお世話するにしても先づ人間の內容を造つて置く必要があるので毎夜一時間づゝ簡易な滿洲語と滿洲に對する一般的の智識を授けてゐます、紹介所は來る廿一日で丁度滿一ケ年になりますが大體の求職者は一千四、五百名そのうち就職したもの約一千名位あると思ひますから成績は決して悪い方とは思ひません

弘報委員會

弘報委員會は本日午後一時半より軍司令部に於て會議開催本日は弘報協會に關する經過並びに各社の之に對する意見等の報告が行はれる筈である

古川氏家族 明日大連へ

前新京鐵道出張所長古川達四郎氏及びその家族は明十日午前九時發はとで大連に引揚げる

人事往來

▲清水豐太郎氏（新京居留民會長）九日午前發遼陽へ
▲多田晃氏（滿鐵地方課長）八日午後來京ヤマトホテル
▲篠崎彥二氏（ハルビン學院教授）同
▲金光庸夫氏（東亞煙草）同
▲難波清作氏（航空兵少佐）八日午後來京名古屋ホテル
▲杉浦眞作氏（チ、ハル商人）同
▲田川宗一郎氏（大阪會社員）同
▲鹽飽左藏氏（下關海產物商）同
▲三原美貞氏（陸軍少佐）同
▲鈴木伴三郎氏（安東中學校長）八日午前來京國都ホテル
▲朝香四郎氏（奉天朝日中學校長）同
▲寺田喜治郎氏（奉天中學校長）同
▲利行睦生氏（蹇安炭坑監事）同
▲山西昌二郎氏（日本練獨ラム株式會社）同午後來京同
▲澤木國衞氏（吉林高等法院推事）同

その日く

□ 滿鐵改組實現近しと、關東廳機構改革の騷動がまだ目に見えてゐる、隔世の感

□ マカレ遂に伊太利軍占領、さてその次に控えしはといふ圖 しかも英の態度まで曖昧

□ 松岡滿鐵總裁特別市の社會事業施設視察、お忙しいのにほんとに御苦勞な話

□ 川岸本部隊長傷癒えて愈よ討匪前線へ、苦惱の幾十日奇禍とは云へ同情

□ 滿洲國の運轉手君、宴會の送り迎えはいやといふ、凍る夜の待つ間はさぞつらからう

光りの彼方に (61)

同情 (三)　大林梅子作

「多美枝さん、今日こそ僕は、最後の決心をしたのです」

から云つて、喜代一は、一寸言葉をきると、多美枝のはうをジッと見据えるやうにして

「今まで、僕の貴女に對してゐたことは、隨分、非難さるべき不道徳といつてよい點があつたかも知れません。その事は、僕としても十分に認めてゐるんです。だがそれと云ふのもよく考へて頂けば皆んな貴女を思ふのあまりから出てゐることですよ。命までもと貴女を愛してゐるその氣持を容れて下さらない。その結果、あゝした行爲にまでなつてしまつたのです。ですから、多美枝さん。貴女としてもそれは許して下さるでせうね」

多美枝は、それには答えやうとせず、無言のまゝ僅かに頷くやうにした。喜代一は、それをみると滿足さうに、

「さうですか、では貴女は、許して下さるんですネ」

と、念を押すやうに言つて

「そこで、多美枝さん。今日はあらためてもう一度、貴女に訊きたいことがあるのです」

と、云つて、彼は多美枝のはうへにぢり寄つた。

「もう此の事は、前にも幾度か訊いたことですが、繰返して、もう一度お訊ねしたいのです……」

「……」

「ねえ、多美枝さん、貴女は僕がこれほどまでに戀してゐるのに、どうしても、僕を愛して下さることは出來ませんか？」

喜代一は、から云つて、また多美枝のはうをジッと見詰めてゐたのです。多美枝は默つてゐた。今迄も、から云ふ問ひには幾度か否定の答へを與へてゐたからです。それをまた繰返し、繰返して、喜代一は男らしくもなく訊ねたのです。多美枝自身は弱い女性だつたが、男のかうした懺悔めいた言葉をきくことは大嫌いだつた。そこで彼女は、いまの喜代一の問ひに對しても答えやうとはしなかつたのです。

すると、喜代一は、何となく冷笑を浮べるやうな顔をして

「多美枝さん、貴女は、この屋敷から出ると、直ぐ志村の許へ行くつもりでせう？ それ位のことは僕にだつて分つてゐます。だが、志村はもう結婚の約束をしてしまひましたよ」

多美枝は、思はず顔を上げてゐた。そして喜代一を見詰たのです。喜代一は、內心得意さうにして、

「だから、貴女が志村の許へ行つたところで、それは全然、無駄なことになるんです」と、いつた。

「誰と、結婚するのです？」

多美枝は、相手を追究するやうな調子でいつた。然しその語尾はなんとなく顫えを帶びてゐました

「おどろいては不可ませんよ。僕です！」

「………？」

多美枝は驚きのあまりに口が利けなかつた。かの女は、大きく呼吸をはづませて喜代一を見詰めてゐるばかりです。

と、喜代一は、冷やかに、笑つてゐるやうな顔をしていつた。

「貴女も、多少は氣が注いてゐたことゝ思ひますが、僕は、ずつと以前から志村を熱烈に戀してゐたのです。しかし、あれの口からは其の事を志村に對して言ひ出すことが出來なかつたのです。だが今はもう我慢ができなくなつて、たうとう志村の前にその戀を打明けたのですよ。志村としてもあれが今まで、戀してゐるとは氣がつかなかつたし、それに、そんなに永く戀されてゐたことを訊くと驚いたさうですが、たうとう妹の戀を容れて與れたさうですよ」

◇……特別市社會施設視察の松岡總裁

人類愛に感激し 松岡さんしんみり

けふ特別市内の社會事業を 滿鐵總裁一行視察

滿京中の松岡滿鐵總裁、新京特別市の社會事業施設の話を聞いて「そいつは是非一つ見やう」といふので特に多忙の中を割いて十日午前十時から

視察

に出かけた、一行は塚本病院長地方事務所から武田、横山正副所長、鯉沼地方係長、野村社會主事ら、市公署から植田總務、宇山財務兩處長以下案内役を承り、まづ南嶺の特別市立救濟院を訪ひ清永主任の説明で、孤兒の教育からモヒ患者の救濟、各種授産事業施設など一々實況を見聞し「やあこれはよくやつてゐる」とまづ推賞して順次歩くうち、今は健康も回復し何不自由なく仕事に專念してゐる收容者を眺めて「これらは全部遊民だつたんか、こういふのは外國人に見せてやると大いに參考になるよ」と松岡さんらしい皮肉を述べて上機嫌、最後に事務室に寄つて揮毫を請はれるまゝに「遷善」と墨筆大書し、次は西三道街にある佛人經營の仁慈堂である、こゝでは外人の女先生二名現はれて總裁一行を迎へると、さすがは英語に堪能の總裁、案内役をさしおいて挨拶やら説明やら、質問應答余り長時間に亙るので隨行員から注意したが、先方ではなかなか離してくれそうにないかくて最後の救療部を見て「滿鐵の病院なども萬事かういふ式に出來てゐると申分ないんだがどうも皆には人間愛が足りないから」との感慨を洩し塚本院長以下一同恐縮させる、こゝを辭去した一行は例の棄て子の養育所である嬰兒堂に出向いたが、こゝでは總裁「どうも棄てられる子供も因果なもんだナア」と記者を顧みてしんみりと、人間松岡さんの氣持を吐露して「だがこれなら棄てられて却つて幸福じあないか」と語る

最後

に大經路の五台山向善普化佛教會經營の貧民學校および施粥處を視察したが「こういふ人道的な仕事はうんとやつて頂きたい」と力強い言葉で當局者を勵まし、これで一通りの視察を終へ正午近くヤマトホテルへ引返した

新京醫院に公傷社員慰問 あす滿鐵總裁が

松岡滿鐵總裁は十日午前九時から衛戍病院に傷病勇士を慰問して後、同十時滿鐵新京醫院を訪問し、同院中の公傷社員五十余名を親しく病床に見舞ふ筈である

遺骨還送

故片岡歩兵上等兵の遺骨は九日午前九時五分發列車でハルビン經由チチハルの原隊へ輸送された

鐵道防護團 豫行演習

新京鐵道防護團では明十日午前中から鐵道出張所に鐵道燈火管制本部を三日間設け十日午後五時から六時までの豫行演習及び十二日の本演習の準備、計劃をなし萬善を期する

モヒ中死ぬ

九日午前七時頃市内朝日通派出所附近にて朝鮮人の行倒れあるを通行人が發見新京署に屆け出で署員が檢死するとモヒ中毒で死亡したものらしく氏名は李鐘（二五）とのみ判明したが原籍其他一切不詳で取り敢へず民會に引渡した

盛り場荒しの朝鮮人青年

八日午前十時頃市内日本橋通金泰洋行に於て靴下を窃取せんとする怪少年を新京署員が發見本署に引致嚴重取調べると原籍朝鮮黄海道兼二浦明治町十一番地現住所不定無職許鎭錫（一八）で十月十四日午後七時頃金泰洋行前路上にて通行人の懷中より三圓六十二錢を掏摸り同十六日午後三時頃市場内で氏名不詳の内地人婦人より一圓十五錢、十七日午後八時頃吉野町夜店で一圓十錢、十八日午後七時頃金泰洋行内で一圓十錢、二十一日午後九時五十分頃新京キネマ前路上で一圓十錢、同二十三日午後三時頃市場内で一圓五十錢を掏摸とつたことを自白したがなほ相當餘罪ある見込みで引續き取調べ中

滿鐵消組で盜む

八日午前二時頃から六時頃までの間に市内羽衣町滿鐵消費組合に何者か侵入し丹前二十枚入りの函一個時價百二十圓と割箸時價二十數圓を窃取されたのを係員が發見新京署に屆け出で目下犯人嚴探中

北十條踏切 片側通行は可 各方面からの要望て

昨報、北十條通り京濱、京圖線踏切石張工事は九日から實施、通行も一切禁止の豫定であつたが、かくては衛生隊の汚物運搬に支障を來すので片側通行だけは許して欲しいと申出でがあつたので關係者協議の結果工事は十一日から着工片側通行禁止となり他の片側は人畜車馬の通行を許すとそのため十日間で完成の豫定のところ二十日片側通行禁止に變更された

日滿精神的結合を强化促進せん

多大の收穫を收め 日滿中等學校長會議終る

日滿中等學校長會議第二日目の議事は九日午前九時から新京商業學校講堂で開催最初前日の議事中委員に附託された協議事項の協議に入り別項の如く可決した、續いて十時まで同校の武道及び珠算競技會を參觀し十時三十分から新京高等女學校の會場にいたり同校では三十分生徒作品展の參觀、終つて十一時から正午まで同校音樂並びに舞踊研究會員の歡迎學藝會に臨み正午から公會堂における文教部の招宴に列席、午後は滿洲國側中等學校の參觀、午後五時から滿鐵招待の大陸春における宴會に出席の豫定、なほ滿洲における中等教育史に特筆すべきこの有意義な第一回日滿中等學校長會議もこゝに終りを告げた

決議

第一、滿洲に於ける日滿中等學校に於て日滿兩國民の精神的結合を强化促進する具體的方案（日本側提案）

日滿兩帝國の一體不二の關係を强固ならしむる事は啻に兩帝國の爲のみならず東洋の平和を確保し亞細亞民族の地位を向上し世界の平和人類の福祉に貢獻する所以にして是れ實に日滿兩國の崇高なる大使命なり、由て日滿兩帝國中等學校に於ては特に左の事項に留意し以て兩國民の精神的結合を强化促進せんとす

一、日滿兩國の生徒をして日滿兩國は不可分の關係に在る事を充分に認識せしめ一德一心の實現を期すること
二、兩國の生徒をして日滿兩帝國建國の由來、國情並に風俗、習慣等を理解せしむること
三、兩國生徒をして相互の國語に通曉せしむる樣、努力すること
四、相互の聯合運動會、展覽會、學藝會、辯論會、音樂會等を開催すること
五、相互に學生を紹介し信書交換等の機會を作ること
六、相互に修學旅行、見學等の計劃をなし親善の機會を設くること
七、日本內地に於ても努めて滿洲語の教授を奬勵すること
八、毎年一回日滿中等學校長會議を開催すること
九、時々各地に於て教員の懇親會を開催すること
十、適宜相互教員の教科研究會を開くこと
以上

第二、日滿教育聯合研究會結成の件（滿洲側提案）
一、本件の實施については極めて復雜多岐なる考慮を要するを以て別に準備委員會を組織すること
二、準備委員會は座長の指名に一任
三、準備委員會は可成的速に成案を得直に本會に移されたきこと
以上

なほ準備委員會には日本側六名滿洲側七名を委員その外文教部、關東局、滿鐵各視學官並びに視學六名を顧問に推薦した

電々會社の詔書捧讀式

國民精神作興に關する詔書發布十週年記念に際し電々會社では十日午前十時より本社講堂に於て之が捧讀式 擧行式は全社員最敬禮の裡に山内總裁により詔書捧讀され續いて全員君ヶ代奉唱、皇城遙拜をなし社歌合唱の後閉式する

滿洲國官吏を騙る

本月六日頃市內永樂町二丁目洋服商泰盛洋行こと野田辰一方に到り滿洲國文教部社會教育科勤務現住所新京日本橋通六十三番フランスホテル內中島恭郎（三〇）と自稱し時價七十餘圓の洋服を騙取屆出に依り新京署に於て種々調査すると前記泰盛洋行以外より數回に亘り百八十餘圓の金品を騙取したこと判明、滿洲國官吏を騙る常習犯として各地に手配嚴重捜査中である、

街の日記

雜誌記者協會 名簿改製

新京雜誌記者協會では規約通り滿一ヶ年毎に會員名簿の改製を必要とするので、目下協會事務所で名簿作製中であるが、尚ほ入會希望の向は同協會事務所たる新京日出町二ノ八滿鮮社加藤宛（電話三―四八三九）へ申込まれたいと

有久書記生轉任

在新京日本總領事館有久直忠書記生は今回間島總領事館百草溝分館轉任を命ぜられ九日暇乞挨拶に來社した、因に氏は十二日午前十一時二十分發列車で出發する

知識氏の送別會

大阪朝日新聞新京支局長知識債治氏は東京朝日に榮轉不日赴任に決したので五日會々員は八日午後六時から大陸春で送別會を催し歡談二時間余で散會した、因に氏は十一日午前七時發列車で離京の豫定

日本メソヂスト新京教會集會

十一月十日午前十時半 於記念公會堂
「活ける献げもの」 大友 牧師

日本基督 新京教會

一、日曜學校 午前九時
二、朝拜 午前十時十分 「契約の血」 吉川 牧師
三、夕拜 午後七時 ―使徒行傳研究― 「コリント教會建設」 吉川 牧師

御來聽歡迎

日の出を拜するつどひ

十日（日曜日）朝六時二十分より西公園誠忠碑前にて（新京日出時刻六時二十六分）市民早起會六時

王道學會休講

明日の王道學會講義は講堂の都合により休會

あす（十日）

△精神作興週間克己日
一、市民早起會 午前六時二十分西公園誠忠碑前
二、詔書捧讀式 午前七時新京神社境内
△飛行隊慰靈祭 午前十時同隊內
△京濱線旅客列車增結
△新京驛前五千ワツト外燈つく
△鐵道防護團 防護デー豫行實施

今晩の主なる放送番組

▲七、〇〇ラヂオドラマ嵐へ（二景）（新京）新京ラヂオドラマ研究會▲七、三〇獨唱（東京）三浦環▲八、〇〇時事解說支那の銀問題と其一般經濟界に及ぼす影響（京都）京大教授汐見三郎

けふの銀相場

國幣對金票	一〇〇圓〇〇錢
鈔票對金票	一〇九圓一〇錢
國幣對鈔票	―
現大洋對鈔票	―

拳銃强盜二ヶ所に

八日午後六時頃南關警察署管內同治街董敬泰方に三人組內二名拳銃所持の賊侵入し家人を脅迫して現金五十一圓と衣類數點を强奪逃走した

△……▽

八日午後六時五十分頃長通路鐵嶺屯九十三雜貨商新登東方に三人組いづれも拳銃所持の强盜が侵入し國幣金票取まぜて五十二圓、大洋一圓、煙草二十個、支那服一着を强奪逃走した屆出に接し首都警察廳では直ちに日本側警察署に通報目下犯人捜査中である

山內總裁放送

山內電々總裁は十日午前十一時五十分より零時廿分に亙る三十分間「滿洲に於ける電氣通信事業に就て」新京放送局より全日滿に講演を放送する

米國野球敗る 對立教戰

7A―1

【東京國通】全米アマチュア對立教の野球戰は八日午後二時三十分より神宮球場で全米軍先攻で擧行、七A對一で立教勝つ、閉戰四時三十分

△スコア

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
全米	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
立教	3	0	0	1	2	0	0	1	A	7A

對法政戰 來る十二日

【東京國通】來る十二日神宮球場で全米アマチュアチーム對法政大學の野球試合が行はれるが放送協會では此の實況を海外の邦人及び米人に傳へる爲め米軍團長ハーバートハンター氏に英語のアナウンスを依賴し、午後二時から三時までの海外放送の時間を四十分間延長して球場熱狂の實況を海外に送る事となつた

往復九百圓 伯林のオリムピック大會へ

【東京國通】オリムピック東京誘致問題等が喧傳されベルリンの第十一回國際オリムピック競技に對する我國の關心は非常なものだが文部省內の奬健會では早くもオリムピック視察見學團の計畫を發表した、同視察團に加入すれば三等ではあるが九百圓を以て往復旅費滯在費等もまかなはれ立派に旅行が出來るわけ、一行は昭和十一年七月十二日東京發ベルリン滯在約四週間九月三日歸着の豫定である

“私にとり留置場は結構なホテル”

北海道から滿洲を流轉の男

昭和六年一月北海道の北端留萠を出發し本州中國を經て足掛け五年目の昭和十年六月滿洲に上陸第一歩を印し滿洲各地を彷徨ひ寒氣と饑えに耐えかねヤマトホテルに到り物乞ひ中新京署員に捕へられた男の人生流轉史―本籍北海道留萠郡留萠町大字留萠村南濱手通二三四住所不定無職多屋秀三（四七）は昭和六年ぶらりと家を出で何の目あてもなく道內各地の土工場を渡り步き同年六月

函館

から本土に渡り青森から奧州を泊り重ねて東京に出で横濱、靜岡と東海道を土方親方を頼つて僅の草鞋錢を貰ひ昔の彌次喜多式に膝栗毛、同年十月大阪に辿り着き職を求めて飛島組の荷揚仲仕となりこゝで昭和八年七月まで働いたが持つて生れた流浪性が祟つて七月十日大阪を發足山陽道を山口縣に辿りつき同地の鐵道工事の土工として働き、九年三月工事竣工と共に山陰道に入り鳥取縣阿川の鐵道工事に杉本親分の配下となり山陰各地の土工場を稼ぎ廻り、昭和十年六月十日出發下關から玄海灘を渡り六月十五日大連に上陸、七月十五日普蘭店農園に農夫となり二十圓を貰つて旅費としてハルビンに赴き、八月中頃迄モストワヤ街山上彦九郎氏の

世話

になり八月中旬出發チチハルに赴き九月十五日出發昂々溪に逆戻りし徒步で札蘭屯から興安嶺にわけ入り蒙古に入つたが擧動不審で某機關に捕へられ追放され、嫩江支流を下つて白城子から京白線を[illegible]を極めて十月末頃新京に入り途中興安嶺山中で拾つた瑪瑙を二十圓で某所に賣つて各所を徘徊してゐるうちいつか所持金もなくなり饑えと寒氣に耐えかねて十一月五日の夕方ヤマトホテルの玄關で物品を强要してゐるところを新京署員に捕へられ留置された、取調べの係官に對し『仕事はなし金はなし寒氣に着るものはなし困つてゐましたがこんな

結構

なところにお世話になつてまるで私にはホテルのやうなものですと鬚むしやの顏の奧から淋しい笑をもらしてゐたが彼に限り皮肉な笑とは見へなかつた

あす十日は國民克己日

午前六時から市民早起會

明十日は國民精神作興に關する詔書御渙發記念日に當りこの日全國一齊に克己日と定め各種催しが行はれるが新京でも午前七時から神社境內で詔書捧讀式が擧行され終つて植田特別市公署總務處長の講演あり、一方西公園誠忠碑前では午前六時二十分から市民早起會が催され、八島小學校森田訓導からラヂオ體操、一段から二段まで指導實施される終つて明治會古智氏の御製三種の奉詠謹解が行はれる

仙人掌

公會堂へ行つて、銀座の連中の「心中天網島、時雨炬燵の段」をすこし覗いた、熱心に演つてゐたが、やはり原作の良さといふことが考へられた

▲亞細亞會館の諸君の「時勢は移る」―さすがに尾崎君の源之丞は觀衆のどよめきを呼んでゐた、愛ちゃんおとなしくやつてゐたが、どうも源之丞より體格が偉大でね！

天氣と氣溫

明日八 北西の風曇一時雪後晴

日の出	午前六時二十六分
日の入	午後四時十九分
月の出	午後三時四十二分
月の入	午前五時五十分
けふの氣溫 最高	二度九
最低零下	一度七

誰が殺したか

國枝史郎監修 龍造寺瞻畫

第二の殺人

二三

九三

咲山醫學士がなぜ發狂したのか?。

峰山富枝子の怪死の謎!。

その化石のやうになつた死體の原因は……?。

發見された日記に依つて、やうやくあきらかになつたのであるが、それらをその經過をたどつてわかりよく書いてみれば斯うである。

元來、天才的な、すぐれた頭腦をもつてゐた咲山は、學校を出て間もなく、解剖學の助手となつた。

はじめの頃、或日、何氣なく、東京新聞を見てゐると、ふと、思はず、眼をひかれた記事があつた。

其は、日本の、楢山博士が、歐米をまわつて帰國の途中、ロシヤに立寄つたことの、視察談のやうなものであつた。

それによると、ロシヤ革命を成就した世界的偉人、レーニンの死體、どういふ方法でなされてあるかわからないが、レーニンの死體が、生前とおなじすがたで、如何によこたはつたまゝ安置されてあるのを見てきたのだが、それはちかよつて、手を觸れて見るといふわけにはゆかなかつたが、どう見ても、こしらへものとは思はれなかつた。

それでなによりもの驚異はそれでは、どうして、あのやうに化石のやうにして、死體を、原形のまゝ、くさるといふこともなく變色するといふこともなく、いつまでも保存しておくことができるのであるか?と、いふことであつた。

それはなんでも、ドイツの某博士と、ロシヤの醫士とが、偶然な或方法を發見したので、それがロシヤ政府で公開しないのだ、といふ事を書いたが、とにかく、驚異の一つの標本であるといふことを新聞記者に語つたのであつた。

咲山醫學士は、この、不可思議な事實の存在してゐることに眼をみはつて驚き、非常な、學者的興味をもつて、すぐに、楢山博士を訪問したのであつた。そして、詳細にわたつて、博士の意見や、見聞について質問し、聽き込んで、なにか期するところある如く、昂奮して歸つたのであつた。

それから、咲山醫學士は、殆んど寢食をわすれて、そのやうな死體保存法についての、研究に没頭して、遂に、或偉大な發見をなしとげるにいたつた。

咲山の發見したのは、藥品に依つて、人體を、そのまゝ石のやうにしてしまふことが出來る、一種の藥液であつて、これを生きてゐる人が一二滴飲むと、なんの苦痛もなく、そのまゝ呼吸が絶へて化石したやうになるし、それと反對の藥液をもつて、そのやうに化石したのを、また普通の肉體そのまゝの死體に戻すことができるといふのであつた。

この奇怪な、藥液の發見は、咲山自身、誰人にも、洩らさないのであつた。

動物試驗に依つて、效果の確實であることはわかつたばかりではなく、解剖用の死體によつて實驗も成功したが、生た人間に對してこれを實驗してみる機會がないので、どうにかして實驗してみたいといふ慾望に、しよつちゆう苦しんでゐた。

それは六月の末のことであつたが咲山は、富枝子からの手紙で、何氣なく、その晴れの居宅を訪ねて、意外なことを、うちあけられたのであつた。

(この篇今野賢三作)

映畫と演藝

(新映畫紹介) 永久の愛(前後篇)

—蒲田さよなら映畫—

原案指揮 城戸四郎
脚色 齋藤良輔
監督 池田義信
撮影 濱村義康

—キャスト—

藤村善助 藤野秀夫
妻お象 葛城文子
姉久子 栗島すみ子
息子善一 日下部章
妹靜子 田中絹代
伜健 岩田祐吉
工場長森田 上原謙
本田よし子 及川道子
職工長前川 城多二郎
女給富士子 川崎弘子
他オール・スター・キャスト

(梗概)—紙問屋の老舗藤村家は姉娘久子に婿養子として高木を迎へて間もなく破産してしまつた、財産目當ての高木は破産した藤村家に未練がなかつた、久子は斷然藤村家再興に努力するため番頭河田等と共に凡ゆる苦惱と戰つた大學生の弟善一も妹の靜子と共に苦勞するのだつた、その頃父善助はこの世を去つた、高木は女給富士子達を相手に遊蕩の日を過してゐた、久子達は商賣敵の山本を社長とする會社の惡辣な計畫に愈よどん底に追ひつめられて行つた、その上ふとした事から善一は自分がめかけおとよの子である事を知つて、家出した

そして久子は遂に森田を工場長とする製紙工場を閉鎖する決心した、勞働者は工場閉鎖を知つて動揺が起きた責任を以てこれを解決せんとした森田は伜健や娘のきみ子の驚きの中に決然と自殺の道をとつた、藤村家は來るべき飛躍に供へての隱忍自重、そして森田家の書齋には死の蔭があわたゞしくも重苦しくたゞよふのだつた。

工場長森田の死も知らず騒いでゐた勞働者の前に現はれた健の悲壯な父の死の報告と僞りなき希望は、勞働者を圓滿に納得させる事が出來た、多くの犠牲者を乗越へて父子や健は再建への努力を誓つたその頃家出中の善一は女給富士子のアパートに居た、或日富士子は突然おとよの訪問をうけ善一を返してくれと頼まれたがきつぱり斷つてしまつた。

併し、義理が遂に富士子をして心にもなく善一と別れさせてしまつた、再建に努力する久子達の計畫は悉く邪魔され、失望のどん底に追込められた時、ダンサーの靜子は富豪濱田に委ねて處女に依る死を以て姉久子の苦境を救つたこの頃久子に失戀して滿洲に居た秋本はマダム圭子に見守られ乍ら久子の肖像を畫いて病苦と闘つてゐた。

斯くて多くの人々の犠牲と努力と協同とに依り久子達の再建の業は遂に成つたのだ。(十四日より長春座上映)

蹴手繰り音頭

松竹下加茂作品、長谷川伸の原作で大毎東日連載小説の映畫化、脚色には梶原金八があたり、監督には「國定忠治」に次いで井上金太郎があたつた、連續ものでこれはそのプロローグとも見るべき初篇、いろはの伊四郎には阪東好太郎が扮し笠松戒三には月形龍之助の特別出演、女主人公には飯塚敏子が扮する、その他小笠原章二郎、大内弘、澤井三郎、山路義人、新妻四郎等お馴染の顔が並ぶ、キャメラは伊藤武夫、近日長春座上映

「千兩礫」

新京キネマ 寫眞替り

新京キネマ九日よりの番組は待望の「千兩礫」を中心に「望郷の唄」「女性陣」を加へた日活全プロを以つて編成されてゐる

△日活時代「千兩礫」稲垣浩監督作品、三村伸太郎のオリヂナルものである、金を惜しむ人、金を欲しがる人金を嫌ふ人、一千兩の金を中心に色々な人間の姿が暴ばかれて、傳次郎扮する礫の長太郎が稀代の潔癖をふり廻して痛快に飛躍するのである、傳次郎を助ける人々は鳥羽陽之助、市川百々之助等オール・スター・キャスト、蓋し近來の見ものであらう、撮影は竹村康和

△日活現代「望郷の唄」菊池寛の「父なればこそ」の映畫化、男は愛する女のために金を貯めたが、金を持つて歸へつてみれば女は既に人のものになつてゐた、腕力で奪ひ返へさうとした男は、かつての交渉が女と己の間に形づけた子供で、父である男に反撥するのをみては、子故に全てを諦めなければならなかつた—といつた筋で井染四郎と中野かほるが主演する、大谷俊夫の監督、荒牧芳郎の脚色になるもの、キャメラは相坂操一

△日活現代「女性陣」山路ふみ子の主演するかつて好評を博した快篇である

映畫ニュース

▲ウフアの雄篇『コスモポリス』愈到着 七百五十萬ヴオルトの電流によつて原子を破壞し、黄金を製造するといふ實驗はしばしば試みられ、成功の可能を予言されてゐたが、これを骨子にウフアが「メトロポリス」「月世界の女」「FP一號」と同じく大掛りなスペクタルとして製作した『コスモポリス』が東和商事へ入荷、十一月S・Yの大作として封切られることに決定した、監督カール・ハートル、主演ハンス・アルバース、ブリキッテ・ヘルムで人造黄金完成の曉に於ける世界の恐慌と動亂を予言し殊に大西洋海底に掘られた黄金工場の爆發には空前の大規模なトリックと音響効果を用ひて成功したものである

▲『君を夢みて』到着 『今宵こそは』にジャン・キープラの相手を勤めて、一躍人氣者になつた若手女優マグダ・シュナイダーが、ウイリ・フォルストを相手に主演した獨逸トビス映畫『君を夢みて』が、東和商事へ到着し、近くS・Y系のスクリーンを飾ることとなつたこれは『別れの曲』『春のパレード』の好調に次ぐゲザ・フォン・ボルヴアリイ監督作品で・名手ロベルト・シュトルツの作曲にのつて樂しく描かれる音樂喜劇。賣出しの作曲家と可愛い令嬢の戀を扱つて『今宵こそは』の趣きをその儘傳へたものである

一箱

祝福すべき仕事がその緒に就いた、好意ある期待と支援の中から、大きな希望と抱負をもつて生誕の聲をあげた「満洲映畫旬報」がそれである、漸く形を整へて來た満洲映畫界の更なる發達向上の爲めに、これは正しく一つのポイントを讃するものである、やはらかく虚弱な生兒であらうとも、あげられた生ぶ聲に聞く野望にかけて、その洋々たる前途に、吾々は限りなく待望の眼を向けるものである、これは派手は讃辭に過ぎると思はれるかも知れない、然しながらこの一誌にかけられた不斷の大きな任務に鑑みて、吾々は如何なる絶讃といへども決して不當に失するものであるとは思はれないのである、大きな喜びの往來するまでに、再びこゝに祝意を表して如上の通りである▲シーズン耽けたれど、夏枯れ時の殷賑を追懐するなど困つた現象ではある、力を入れる必要がないと言ふのであらうか、とすれば加はる不詳に何んと應へるか!

今日の演藝街

△長春座—十日まで、結城一朗、阪東橘之助の「野狐三次」夏川大二郎、山田五十鈴の「父歸る母の心」ケイフランシスの「五十六番街の家」「永久の愛豫告篇」

△新京キネマ—九日より四日間、大河内傳次郎の「千兩礫」中野かほるの「望郷の唄」山路ふみ子の「女性陣」

轉居

▲荒政夫氏興安寮から敷島寮十二號へ
▲菅原誠夫氏室町から常盤町三丁目十三番地ノ八小野寺方へ
▲重國儀一氏八島通りから曙町二丁目二十八番地へ
▲和田忠雄氏泉町から大和ホテルへ
▲地來富士登氏日本橋通りから永樂町三丁目二番地へ
▲荒木晴良氏羽衣町から興安大路四百三十五號へ
▲水谷正雄氏富士町から同光明胡同三百十二號ノ十三へ
▲橋本爲一郎氏 同
▲雨森湛三郎氏西三馬路から老松町二十二番地へ

出生

▲永井守一氏(住吉町一丁目十八番地)四男和さん三十日出生

日曜 十一月十日 舊十月十五日 更寅 赤口 平 星宿

●一白の人 準備も整ひ愈々計畫實行の機に臨めり奮起 壬と子と癸か吉
●二黒の人 奮發すれば雄圖大に伸展する幸運發達の日 甲と丙と庚が吉
●三碧の人 物事齟齬するも平生の信用を以て難を脱る 乙と庚と辛か吉
●四緑の人 新規に希望を起すは破滅の基を作るが如し と庚と辛が吉由
●五黄の人 向ふ見ずに進めば小石に足を掬はるべき日 丙と午と庚か吉
●六白の人 意氣も晴れ萬事解決を遂げ活躍自在となる 乙と巽と丙が吉
●七赤の人 始めは運氣良好なれ共後には不良となる日 甲と辰と巽が吉
●八白の人 名利共に行はれ身に餘る幸運に惠まるゝ日 丙と丁と庚が吉
●九紫の人 物事に不滿ありとて我意專斷に陷るは惡し 丁と未と乾が吉

低温乾溜による 石炭液化會社設立

大谷尊由氏等の計畫具体化

資本金約五百萬圓

滿洲國石油類專賣總署は專賣制實施當初の計畫では滿洲石油會社及び外油三社より製油を買つける豫定であつたが外油三社は遂に滿洲を引揚げることゝなつたので、これが豫定部分補先充として滿石はその原油處理能力を月一萬噸に擴張したことは明かであるが一方民間にて低温乾溜に依る石炭液化會社の設立計畫が進められてゐることが明かとなつた、即ち貴族院議員大谷尊由氏は目下東京にて石炭液化會社創立計畫を樹立近く具體化の運びであるがその大要は次の如きものである

一、低温乾溜法により石炭よりタールを作りこれに水素を添加して原油を得る

一、これが方法は日本製鐵會社における研究の成果を採用する

一、使用石炭は撫順炭は需要激増の折から又滿鐵における直接法石炭液化の原料に充てられ使用不可能なので多分滿洲炭鑛の石炭を用ひる模樣である

一、製品は專賣總署が特殊なる買上値段を定め當分は新工業育成的に買上げるといはれる

一、資本金は約五百萬圓の豫定

而して專賣總署ではこれが計畫に全幅の支持を與へ、右會社設立の上は滿石と協調せしめ滿洲國の石油資源を確保せしめる模樣である、なほ本計畫は滿鐵の直接法による石炭液化工場計畫とは全然無關係に進められるが、我國の燃料問題の花形として各方面において競爭的に研究されてゐた石炭液化は茲に愈々企業化されることになつた

新京輸入組合 十月分成績

一、貸付及回收
　本月中貸付額 一三二件 金一〇〇、八九四・〇〇
　回收額 九〇件 金九一、〇八三・〇〇
　本月殘高 三三七件 金三三六、七四四・〇〇
二、仕入先
　一、現地 金一八、六三三・〇〇
　二、内地 金三一、七四九・〇〇
　三、大連 金六、三六三・〇〇
　四、滿鮮其他 金四、一二〇・〇〇

五、合計 金一〇〇、八九四・〇〇
滿洲銀行及正隆銀行扱加入者三名
三、組合員及持口數 滿洲銀行及正隆銀行扱加入者三名　十月末現在組合員一二六名　普通出資口數三、三七〇口　特別出資口數一、一二六口　合計四、四九六口
四、出資拂込額　十月末現在普通出資拂込額 金一二六、八〇〇・〇〇　別出資拂込額 金五三、一〇二、三二一
五、購買傳票　本月中取扱高 金一一、二六六・四一　取扱店數九二、使用個所七一ヶ所、使用人員八六 二名
六、商品券取扱高 本月中取扱高 金六六八・〇〇

十月末 國債現在高

【東京國通】大藏省調査＝十月末國債現在額は九十五億五千七百九十八萬九千圓で前月末に比し二億五千二百七十二萬三千圓を増加した

エチオピアより 人絹の註文

【大阪國通】伊エ紛爭の激化と共に東洋市場に對するイタリー人絹の後退により日本人絹の進出は印度を始め支那、濠洲其他主要競爭市場に於て既に顯著に現れてゐるがエチオピアでも同國の嗜好、風習に最もよく投じたイタリー人絹が事件發展と共に杜絶狀態に陥り好日貨の氣運が漸次昂まりつゝある折柄今回アヂスアベバより大阪の田中商店へ人絹布直接取引の申出であり早速三百梱の見本を送る事になつた

紡績聯合委員會

【大阪國通】紡績聯合會では八日午後二時綿業會館で委員會を開催、十二委員會社の他に特別委員出席、次期の(來年一月以降三ヶ月間)操短につき現行率四晝夜休業二割六分二厘休錘据置きを決定、午後四時散會した

十月卸賣物價指數

中銀調査に係る十月中の新京卸賣物價指數左の如し

本月に於ける新京卸賣物價指數は全品目總平均一一二六を示し、前月著騰の後を承け更に前月に比し一・四の上騰、前年同月に比すれば一四・〇の高位にある、全品目五十品中對前月騰貴二十六品、低落十一品、保合十三品之を類別に見れば穀物の一四二・一を最高とし、雜品の一二二・二、食料及嗜好品の一二〇・二、之に續き以下紡織品一〇一・七、金物九八・三、建築材料八九・三、燃料八四・二となつてゐる

一、類別比較
類別並に重要商品につき本月を前月及び前年同月に比較すれば次の如くである
＋印は騰貴、×印は低落、〇印は保合を示す

△穀物
本月指數 一四二・一
前月比 ＋ 三・九
前年同月比 × 四九・四

△食料及嗜好品
本月指數 一二〇・二
前月比 ＋ 一〇・七
前年同月比 ＋ 一七・三

△紡織品
本月指數 一〇一・七
前月比 ＋ 二・八
前年同月比 ＋ 一・四

△金物
本月指數 九八・三
前月比 ＋ 五・五
前年同月比 × 一一・三

△建築材料
本月指數 八九・三
前月比 ＋ 三・五
前年同月比 × 八・五

△燃料
本月指數 八四・二
前月比 〇 ——
前年同月比 ＋ 二・三

△雜品
本月指數 一二二・二
前月比 ＋ 一一・四
前年同月比 ＋ 一四・〇

二、重要商品比較

△大豆
本月指數 一一四・六
前月比 ＋ 一五・二
前年同月比 ＋ 六七・九

△豆粕
本月指數 一二一・一
前月比 ＋ 八・〇
前年同月比 ＋ 五〇・五

△豆油
本月指數 一四八・五
前月比 ＋ 二四・七
前年同月比 ＋ 九四・一

△高粱
本月指數 二三〇・二
前月比 ＋ 一一・二
前年同月比 ＋ 九一・四

△玉蜀黍
本月指數 一五五・八
前月比 × 一一・二
前年同月比 ＋ 五六・八

△粟
本月指數 一六七・二
前月比 × 二八・八
前年同月比 ＋ 六一・八

△小麥
本月指數 一二二・七
前月比 × 一一・五
前年同月比 ＋ 一一・五

△麥粉
本月指數 九九・七
前月比 ＋ 六・三
前年同月比 ＋ 二四・八

△白米
本月指數 一二二・四

△砂糖
前月比 × 一二・〇
前年同月比 ＋ 一三・〇
本月指數 一〇一・一
前月比 ＋ 二・五
前年同月比 ＋ 一〇・〇

△綿糸(十六番手)
本月指數 一一四・八
前月比 ＋ 三・八
前年同月比 × 〇・二

△細布
本月指數 一〇一・七
前月比 × 三・九
前年同月比 ＋ 五・八

△四綾
本月指數 九六・二
前月比 × 四・五
前年同月比 ＋ 七・五

△銑鐵
本月指數 九〇・五
前月比 〇 ——
前年同月比 ＋ 二三・九

△亞鉛引平板
本月指數 一一三・五
前月比 × 七・五

△木材
前月比 ＋ 八・三
前年同月比 × 二七・六
本月指數 一二六・一
前月比 × 一二・六
前年同月比 ＋ 一一・一

△セメント
本月指數 七三・七
前月比 〇 ——
前年同月比 ＋ 一〇・三

△石炭
本月指數 七〇・二
前月比 〇 ——
前年同月比 ＋ 一七・九

△石油
本月指數 七三・七
前月比 ＋ ——
前年同月比 ＋ 六・四

△麻袋
本月指數 八二・三
前月比 ＋ 一・一
前年同月比 ＋ 一一・三

新京商工會議所 本日議員改選

新京商工會議所では本日午後三時より土建協會に於て縣會を開催、左記事項を報告

一、事務報告
一、決算報告
一、財産目錄報告

次いで議員の互選並に會頭、副會頭の選出に移つた

居心地のよいお部屋　室内電話の設備……　三笠旅館　新京三笠町三丁目五　電話長三一五五六四番

獨逸經濟使節 日銀正金を訪問

【東京國通】東洋經濟事情視察の爲目下來朝中の獨逸東洋使節キープ、クノール兩博士は八日午前十時日本銀行に深井總裁を訪問、來朝の挨拶を述べ、深井總裁より我金融經濟事情に關し説明を聽取種々懇談を遂げ同十一時辭去した次いで正金銀行東京支店に兒玉頭取を訪問同樣挨拶を述べた

物產取引人 組合委員會

【大連國通】主要物產取引人組合委員會は八日午後三時半より取引所會議室に於て開かれ、現物取引制度改善案を審議した、先づ特別委員會原案の説明ありたるに對し取引所側の意思表示があり、取引人側も相當强硬な主張を爲した模樣で果然兩者の意見對立するに至り、中途小林所長の退席により議事は進行せず何等纒まるところなく午後四時四十分散會した

產金買上價格

財政部發表の來週產金買上價格は左の如し
一瓦に付　國幣三圓五角

土建ニュース

決定工事
▲鞍山消防隊その他新築工事
●滿鐵地方部
落札 一萬九千八百圓 碇山組
一九、八七〇・〇〇 鳶井組
一九、九七〇・〇 吉川組
二〇、六〇〇・〇〇 三田組
二〇、八四〇・〇〇 今井組
●大連鐵道事務所
▲大石橋驛給水柱排水管布設工事
落札 六千五百圓五十錢 白川組
六、九九〇・〇〇 福井高梨組
六、八七〇・〇〇 倘厚濫
豫告工事
▲關東軍新京酒保新築工事
●關東軍司令部
入札 期日十一月九日

お酒は慶典

映畫「京圖線工事」の聯想

滿洲諸鐵道の變革

事變前までの抗爭的緊張

滿洲 經濟 夜話 (26)

筆者は一昨日國務院の試寫室に於いて、鐵路總局撮影の記錄映畫「京圖線狭小工事」三卷を觀た。

野口雨情といふ、日本の民謠詩人はかつてうたつたものであつた。

「長春の停車場で日本の汽車とロシヤの汽車と支那の汽車とが會つてもお辭儀はしなかつた」

まさに往時は、その通りの狀態であつたのである。私は北滿鐵道、そして京圖線が、道(中東鐵路、東省鐵路)ー軌幅四呎の、曾つての東清鐵今や八月三十一日の黎明のなかに、四呎八吋の標準軌幅に變へられて行くありさまを、まのあたり見て感謝深いものなきを得なかつた。

×　×

滿洲に於ける鐵道の發達がその經濟の開發にいかに貢獻して來たかを見よう、鐵道は莫大な農業移民を送り、耕地の擴大をうながし、滿洲の農▲をして世界商品の生產者として、又その購買者として生成せしめ、鐵道の沿線には都市を成立させ、發達させた、そして、それこそが、滿洲經濟の資本主義化を促がした所の重要なモメントであつた。

前にも書いたやうに、一九〇三年に開通した東清、關外兩鐵道は露國および英國の資本によつたものであつたが、日露戰役(一九〇五年)東清南部線(長春・大連間)及びその支線は日本に讓渡せられ又日本は安奉線を敷設して、こゝに日本が滿洲の鐵道に參加することとなつたが、その後日本資本は諸鐵道の敷設に關與して、最優越的な地位を占めるに至つた、かつての支那自辨鐵道の滿鐵包圍策等の如き、今日では全く一場の語り草となつてしまつてゐる。それは實に、滿洲事變直前までの、鐵道に現はれた抗爭時代であつた、半植民地支那、その一種の植民地ともいふべきものであつた滿洲が立ち上つて抗爭してゐたのだつた。

上海の支那側銀行はしきりに圓買ひをやつてゐるといふ、これは無論在支那人銀行に打擊を與へようとするのであらう▲英國側の銀行の活躍もめざましいものがあるといふ、投機筋の利喰はすでに六百萬元に達したとか、それに對して英國銀行は防戰に出動したのだ、雄厚なる資本を以てすれば上海の金融市場に獨占的支配權を打ち建てることも出來るであらう▲この情勢と對比して直ぐ考へられるのは、北支の事である、あの「多田聲明」の中にも北支財政獨立への有望なグリンプスが述べてあつた南京では天津の諸銀行の持つてゐる銀八千萬元を上海に送れと言つてゐる、若し强行的に送らされたら、それこそ天津經濟界は大混亂である、北支政局の動きにも微妙なものが感ぜられる、北支はまさに緊張の極點にあるやうに思はれる▲「民四億何を思ふぞ木枯しに」

商況欄 (十一月九日前場)

海外經濟電報

倫敦銀塊 二九片一六分五
同先限 二九片一六分三
紐育銀塊 六五仙八分三
孟買銀塊 六六留比六分三
米英爲替 四弗九三仙八分一
米日爲替 二八弗七九仙
米支爲替 三〇弗一二仙
スチール 四七弗〇〇
アナゴンダ 二一弗八分一
英日爲替 一志二片五分三
英支爲替 一二弗四分三
印日爲替 七七留比二分一

▲米棉
現物 一一仙七〇
十二月限 一一仙二九
一月限 一一仙二五
三月限 一一仙一七
五月限 一一仙一六
七月限 一一仙一三
十月限 一〇仙九二

▲印棉
ブローチ 二一七留比
オームラ 二〇〇留比
ベンゴール 一五一留比

▲市俄古小麥
十二月限 九六仙八分五
一月限 九七仙四分三
三月限 九〇仙八分三

▲カルカツタ麻袋
青筋 二五留比八分三
鐵筋 二二留比二分一

金銀市況

●上海標金
昨引 一二四八・〇〇
本寄 一二四七・〇〇
步 ——

●大連金鈔票
現物
寄付 一〇八・七
引 一〇九・八〇
出來高 一三〇萬
十一月十三日限 十一月廿八日限
寄付 一〇八・八〇
步 八・四〇 八・五〇 九・〇〇 九・三〇 九・七〇 九・六〇 九・一〇 九・三〇 九・〇〇 八・九〇 九・一〇 九・七〇
出 來 不 申

●大連鈔票銀大洋
現物 一〇一・四〇
出來高 二六萬
引 一〇九・八〇
不申

●奉天國幣金票
現物 一〇〇・〇〇
十一月廿八日限
寄 引 出 來 不 申
一〇三・〇〇

●奉天國幣鈔票
現物 一〇九・五〇
十一月廿八日限 一〇九・〇〇 一〇九・五〇
出來高 一九萬
一〇六・〇〇

●哈爾濱國幣金票
現物 一〇〇・〇〇
十一月十三日限 十一月廿八日限 一〇〇・〇〇
出來高 一九萬

爲替相場

●安東國幣金票
現物 一〇〇・〇〇 一〇〇・〇〇
十一月十三日限 十一月廿八日限
本寄 引 出來高
出 來 不 申

▲上海爲替
▲日本向
第一回買賣 一〇・三七五
第二回買賣 ——
第三回買賣 ——
▲倫敦向
第一回買賣 一志三片一六分九
▲紐育向
第二回買賣 二九弗八分七
第三回買賣 ——
第一回買賣 ——

外科・一般・花柳病科　肛門病科・入院・夜診應需　廣澤醫院　日本橋郵局前・電五四三六　ドクトル 廣沢德民

▲大連爲替
▲上海向
九六、〇〇　九五、五〇　九六、一〇　九五、六〇　九六、六〇
出來高 十五萬
▲臺灣向
九三、六〇　九二、〇〇　九五、五〇　九五、〇〇

▲阪神日米爲替
第一回買賣 二八弗四分
▲阪神日英爲替
第一回買賣 一志二片[illegible]

株式相場

▲大阪株式(短期)
大新 日新 東新 鐘產 …
▲大連株式(短期)
五品 豆新 錢鈔 東新 滿鐵 二新 日產 鐘新
▲奉天株式(短期)
滿取 東新 大新 日產 五品 豆新 鐘新 滿鐵 二甲 電乙 同拓 東興 滿[illegible]

取引所市況 (十一月八日前場)

●豆
(一石値段)
(混合百片値段)
寄 引 出來高

物產市況

●大連大豆
袋込 十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限
●同豆粕
現物 十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限
●同豆油
現物 十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限
●同高粱
現物 十一月限
●神戶豆粕
小麥

商品市況

▲大阪棉糸
優先 滿毛 日書
寄 付
十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限 四月限 五月限
▲大阪棉花
當限 先限
▲大阪人絹
當限 先限
●大阪期米
當限 中限 先限

大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊　【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓　郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話【編輯部專用三二一五　營業部專用三三〇〇】
發行人　十河榮忠　編輯人　松本勇　印刷人　木越內之介

爲替管理法實施の際　日本のみは除外例に

遲くも本年内には公布實施　國幣の價値愈よ安定

滿洲國外國爲替管理法は大陸に接壤する滿洲國として實施に當つては日本の協力を俟たねばならず、その點につき目下滯京中の横山財政部理財科長が日本側と細目的打合せを行ひつゝあるが同氏の歸京を待つて遲くも本年内には公布實施すべく、財政部に於て目下諸般の準備を進めてゐる、同法の内容は嚴祕に附されてゐるが投機取引の禁止、外國通貨の流通制限は當然その骨子をなすものと見られてゐるが
一、外國通貨の混流する事實にある
一、日本と特殊不可分の關係
といふ二點に於て立法技術上よりするも實施運用に際しても各國とその例を異にし注目を惹いてゐるが、同法の實施は鮮銀券の漸進的撤退と相俟つて國幣の價値安定に寄與する所甚大なるものありと期待されてゐる

新京商議の改選　昨日無事終了

治法撤廢後の課税等も協議

新京商工會議所定期總會並びに議員選擧は九日午後三時半より土建協會會議室に開かれた、出席會員五十八名、尾藤新理事の紹介に次いで、石崎會頭の對滿洲國官吏消費組合に關する折衝經過並に滿洲國新營業税が將來在滿邦人商工業者に及す影響の重大性及び會議所側の採るべき方策等の重要報告が了つて九年度收支決算及び財産目錄の承認があつた、五時より六名の代表議員の推選あり廿四名の議員選擧が行はれた結果は左の如し

代表議員
綿糸布商ノ部（東洋棉花）淸水暢
木材商ノ部（德喜林業公司）彼末德雄
輸入商ノ部（加藤洋行）寺内淸次
銀行信託ノ部（正金銀行）栗原重康
工業ノ部（寶山鱗寸）前田伊織
穀類商部（三井物産）加藤德善

（二）議員
四戸友太郎（五二票）
天野恒太郎（五〇）
吉田廣盛（四五）
石崎廣治郎（四四）
福田右一（四四）
西村淸兵衛（四一）
茅本喜一（三三）
杉尾正一（三三）
栗田二郎（三二）
梅津淸兵衛（三〇）
大本六二（二八）
松田益太郎（二六）
穴澤喜壯次（二六）
伊藤般三（二六）
中林四郎治（二五）
佐藤精一（二四）
松田淸（二四）
德本長松（二四）
今井覺太郎（二三）
近江淸一郎（二三）
宮原芳茂（二三）
櫻澤秀次郎（二三）
丸山直助（二二）
赤垣幾四郎（二二）

梶原東株理事長　近く任期滿了

【東京國通】梶原東株理事長はこの十二月で任期滿了となり圓滿辭職し、杉野喜精氏が後を襲ふ模様である

滿洲移民會社に　三井、三菱出資

【東京國通】資本金二千五百萬圓で設立豫定の滿洲移民會社に對し三井合名と三菱合資で各二百五十萬圓出資に内定

治外法權撤廢後の　鐵道警備警察權？

滿鐵より希望條件提出

【大連國通】滿鐵附屬地行政權並に司法權移讓に關聯し社線鐵道警察權の處理を如何にするかに就て滿鐵では過般來愼重研究中であつたが今回左の如き希望條件を決定し當局の善處を希望する事となつた
一、滿鐵社線列車内に於る行政警察及び司法警察權は助役並に列車車掌に警察權を附與し日本の法律に從つて處理せしめる
一、關東局警察官の列車警乘は廢止されるべきを以て鐵道の警備治安維持は鐵道守備隊を充實し且つ警察官の警察に代る守備兵又は憲兵を警乘せしめて之が完璧を期す

天皇陛下には　御平常に復せらる

【東京國通】本多行幸主務官發九日午後一時十五分宮内省着電
聖上陛下には今朝來御體溫も御平常に復せられ御氣先御良好に拜せらる

地中海の英海軍

一部撤收か

【ロンドン八日發國通】英國政府は地中海上の情勢緩和の見地から一定條件の下に地中海々軍力の一部撤收を決意したと解される、ホーア外相は右方針に基き八日ローマ駐劄大使ドラモンド氏に對し訓令を發したので同大使は九日ムッソリーニ首相を訪問、伊太利政府がリビヤ遠征軍を更に撤收すれば英政府も地中海艦隊の内主力艦フッド一號其他數隻を撤收する意圖ある旨を通告したと云はれる

米國新棉收穫豫想高

【ワシントン八日發國通】農務省は八日新棉第四回收穫豫想を發表したが右によると十一月一日現在の收穫豫想は一千百十四萬一千俵で前回十月一日調査の收穫豫想に比して三十二萬三千俵の減少である然し昨年の實收高に比し百五十萬五千俵方多い

支那の幣制改革實現難

北平商、財界でも　北平保管を決議

中央當局に電請す

【北平九日發國通】幣制改革對策につき八日午後開催された北平市商會、銀行公會、錢業公會の聯合協議會は夜に入りやうやく決議を得、九日午前右三公會の連名をもつて財政部長孔祥熙氏宛現銀は北平に準備保管分庫を設置して保管したき旨電請した同時に市當局に對しても同様の建議を行つた、少くとも河北省に於ては中央の企圖する方法適用する事は一頓挫と見られる、因に在北平現銀は一千五百萬元見當である

天津市官民協議會で　中央送附を拒絶

【天津九日發國通】程克天津市長は八日午後三時より私邸に公安局長劉玉書氏及び天津銀錢業代表者を招集　現下問題の銀國有令による金融不安、市價昂騰に對する緊急對策協議會を開催、次の二項を決議した
一、各銀行所有の現銀は一律に總額を報告、封印を附して中央に送附せぬこと
二、銅元の暴騰を防遏する爲銀元相場を制限すること
而して右第一項は河北省經濟と重要關係あり現銀の南送に敢然銀行業者が反對し事實上南京政府と經濟斷絶を宣言したものとして注目されてゐる又銅元の暴騰は銀國有令發布前の三日の市場一元につき銅幣五百三枚であつたものが七日四百枚、八日三百九十枚と漸次暴騰歩調を示した爲に必需品たる米、メリケン粉等の食料品が暴騰し、一般下層階級は俄かに生活難に陷り不安動搖し、各區代表者は寄々協議し當局請願運動を試みんとして居り
本九日午後三時より天津市政府では錢業者、糧食業者その他參加の商工聯席會議を開催する事となつた

帝國は斷じて　承服し難し

帝國陸軍態度表明

【東京國通】陸軍當局は支那の銀國有案に就き重大關心を抱き愼重監視を續けてゐたが九日非公式に左の如き重要意見を發表した
一、幣制改革による銀國有統制は政府が國民に信頼されて居ない現狀に於ては結局失敗であつて、却つて密輸と銀の退藏を招來する結果となり、早晩新紙幣は一片の紙片と化する虞れがある
一、從來支那の金融界が比較的強味のあつたのは、中央に金融の權力を集中して居なかつたから一地方の破綻が他方にその影響を及ぼすことが尠かつた爲である、從つて今次の政策遂行の結果は中央が一歩を誤らば支那全土を擧げて收拾すべからざる事態に陷る虞れがある
一、殊に日滿兩國と密接な關係にある北支に對し銀の現送を強要することは北支の經濟を混亂に陷れ、一般民衆を社會的、政治的混亂に追込むこととなり、帝國は默視することは出來ぬ
一、要するに銀國有案は舊奉天政權が奉天票を濫發して人民の膏血を絞つたと同様な手段で國民を塗炭の苦しみに陷れ、南京政府一部要人の懷を肥やし、又は軍費を充實せんとするものである斯くの如く民衆を犠牲にし、私利私慾を圖り延いては東洋平和を攪亂するが如きは帝國の斷乎反對する所である
一、報道によれば幣制改革實行に關し南京政府は豫め英國側と諒解があつた模様で最近英國は對支借欵に對する帝國の協力を要請したともいはれてゐるが、僅かに一千萬磅を以て支那の窮境を救ひ得るものではなく、將來第二、第三の借欵を要しその都度支那民衆の利益は蹂躪され遂に支那の國際管理にまで、及ぶべきは必然である、之は自然的に日本との對立を招來するものであつて東洋の安定勢力たる日本帝國の斷じて承服し難い處のものである

空航往來

▲關竹雄氏（新京會社員）九日午前平壤へ
▲是安正敏氏（新京官吏）同ハルビンへ
▲渡邊幹夫氏（新京）同吉林へ
▲望月清實氏（圖們稅關吏）同延吉へ
▲長谷部唯丸氏（實業部林務司）同奉天へ
▲和合政義氏　同

一語

松岡滿鐵總裁、きのふ新京特別市の社會事業施設を視察した、特に忙しいプログラムを割いての熱心な態度にまづ敬意を表する▼親孝行で有名な總裁のことだから　この方面についての關心は人一倍深いであらうこと推量に難くはなく視察中人間愛についての感激は吾々が聞いて誠に心強く感ずるところだ▼翻つてわが新京附屬地の社會施設を見ると、實に心細い限りであることと昨日の本欄にも述べて置いたが、今度の總裁の視察が何らの形に現れて來る日の近からんことを衷心希望する▼八九兩日新京で開かれた日滿中等學校長會議は最初の試みとして滿洲教育史上に特筆すべきもの、その收穫の多大だつたことを喜ぶものだが▼當日日滿兩國民の精神的結合強化促進方策として不可分關係の認識、建國の由來、國情並に風俗、習慣の理解その他いろいろあつた、中でも相互の國語に通曉せしめることは何よりも必要なことであり▼現在の中等學校が今なほ英語を主とし最近滿洲語が加へられたといへどもこれを從とするが如きは不徹底極まるものである

鐵路總局が斷行の　機構改革要旨

【奉天國通】鐵路總局では鐵道網整備に依る新情勢に應し愈々全滿鐵道綜合經營の實を擧げるべく宇佐美局長が理想とする現場中心主義に基き總局機構の改革を斷行九日正式に發表した、今回の機構改革は總局に監察院制度を設けて中央並びに地方機關の監察に當らしめると共に鐵路局機構の擴充を主眼としたもので四鐵路局の組織を擴充統一し路局長の權限を擴大する外全滿鐵道主要地に十七管理處を新設して路局管下に置き現場機關の直接指導、監督に當らしめ、又命令系統の單一化を圖る一方、今回の職制改正を機會に總局開設以來の人事大異動を行ひ過剩從業員の大淘汰を斷行する等從來の總局偏重の弊を打破して經營の合理化と國鐵の重大使命とする地方産業開發に邁進せんとするものである、改革要旨左の如し
一、監察院制度の實施　總延長七千粁に上る國鐵中央、地方機關の最高監察機關として監察院制度を設け圓滑なる鐵道業務の運行を圖る
一、路局の擴充　路局長の權限擴大を圖ると共に地方産業の見地より各路局に産業處を新設、直接指導に當らしめる外人員を增員陣容の整備を圖る
一、路局組織の統一　路局の組織を處、科、股の三段制に統一し從來課、係の二段制を採用せるハルビン鐵路局にも總務、運輸、工務、機務、經理、産業の各處を新設す
一、管理處の新設　現場の直接指導監督機關として全滿鐵道主要地十七ヶ所に管理處を設置し路局の指揮下に置き命令系統の單一化を圖る
一、人事刷新　職制改革に伴ひ適材適所主義に依り全面的に人事異動を行ひ可能なる範圍に於て
イ、滿鐵々道部と總局との人事入替
ロ、總局、路局間の職員入替
を斷行し滿鐵本社、總局路局の事務連絡の圓滑を圖ると共に全面的に人事の刷新を敢行する
ハ、傍系事業合理化の見地より老朽剩餘從業員の大異動を斷行す

鐵路總局の　人事大異動發表さる

【奉天國通】鐵路總局の職制改革に伴ふ總局、路局に亘る人事異動は九日發表された、之によれば異動總人員は四百名に上り總局開設以來の大異動で各路局管下の老朽從業員の淘汰は實に千數百名に上つて居る　主なる異動左の如し

總局附　平田驥一郎
總局人事課長　大里甚三郎
吉鐵副局長　山領貞二
哈鐵機務科長　芳賀千代太
命總局監察員（各通）
總局運轉課長　秋田豐作
命總局機務處長兼運轉課長
兼輸送課長
總局次長　杉廣三郎
命總局工務處長事務取扱兼務
總局警務處附　三浦惠一
命警務處長
總局工務處長　西川總一
命吉鐵副局長
鐵道部工作課長　野中淸次
命チ、ハル鐵路局副局長
齊鐵副局長　高木淸兵衛
命總局總務處附
哈鐵文書科長兼人事科長　折田有信
命總局人事課長
錦縣辦事處長　安達長三
命哈鐵總務處長
ハルビン辦事處長　田中孝平
命ハルビン機務處長
總局警務處長　岩田文雄
命ハルビン鐵路學院副院長
奉天鐵路局附業科長　平井康雄
命奉天鐵路局農務科長兼産業處長取扱
吉林鐵路局運輸長　田中末治
命吉鐵産業處長
四平街辦事處長　韓景堂
命チ、ハル鐵路局産業處長
ハルビン鐵路局福祉科副科長　杉浦平人
命哈鐵福祉處長
哈鐵産業科副科長　石岡武士
命哈鐵産業副處長
哈鐵産業科長　貴島克己
命總局附
總局機務處長　木村知彦
命鐵道部工作課長

宇佐美總局長談

【奉天國通】鐵路總局機構改革につき宇佐美總局長は左の如き談話を發表した
總局は今回第二次職制改正を行ひ十一月十日より實施する事としたが今次の改正要旨は
一、鐵路局の組織改正
二、鐵路管理處の新設
三、總局に監察員の設置
の三項目を主眼としこれに附隨して警務、食堂車業務組織の一部改正、並に哈鐵に北滿經濟調査處及び法律辦事處設置等を行ひ更に此機會に鐵路局中心主義の局長權限を定め尚站、段、長等現行機關の權限をも制定したものである即ち
一、鐵路局の組織改正、創業時代に於る過渡的制度として總局中心の中央集權制により業務の統制刷新を圖り來つたが總局は曩に接收せる北鐵業務の處理も一段落を告げたので今や延長七千キロ、從業員八萬に達せる大鐵道の合理的、能率的經營上最も望ましき現場中心の地方分權主義を採用、諸機構に相當廣汎なる權限を與へると同時に業務運營の中心としてこれが責任を有せしめた
二、鐵路管理處の新設、鐵路管理處は路局と現業機關との中間に位し路局長の指示に隨ひ直接現業機關を指導監督し又地方的對外連絡の任に當るもので全滿に十七管理處を置き一管理處の平均所管線路延長四百キロ、從業員約四百餘人を算するに至つた
三、總局に監察の新設、總局は線路の延長、業務の增加と相俟つて日に月に廣範圍且つ多岐多様に亘りつゝあるので指導精神の徹底と一糸亂れざる統制とによる業務の改善を圖り且つ新たに路局中心主義を採用せる結果一層各路局間の連絡調和を圖る必要を認め總局に監察制度を設ける事とした

社説

滿鐵機構の改革
眞の改組は將來に

一

滿洲に於ける諸般の情勢の推移は、過去三十年の歴史を誇る滿鐵會社の現機構に不可避的な變革を要求するに至つた。すでに一昨年、この問題は關東軍幕僚によつて取り上げられ、當時關東軍による滿鐵改造案として喧傳せられたのであつた。その主要眼目は關東軍が全滿洲の產業指導統制の監督權を把握すること、滿鐵を持株會社とすること、現在の傍系會社並に今後新設せらるゝ子會社はこれを親會社の監督下に置くこと、附屬地行政權を漸次滿洲國に返還すること等に在つたと解されてゐる。そこには資本主義修正への方向がかなり持たれてゐたとも言はれてゐる。所でこの幕僚案なるものはその後一と先づ解消せられたのであつた。

二

「新しい舞台には新しい衣裳が望ましい、だが、滿鐵强化を意味する改組案は滿鐵自體の手に於いて考究されることが適切である」と着任に際して語つたところの、松岡總裁の今次の處置は、傳へらるゝ如くんば、專ら總局を統一しての鐵道の一元化、北支關係の一部設置、地方部の附屬地行政權返還に備ふる縮小等の諸項にとどまり、滿鐵自體の根本的な改組は一應さきへ延期されたもののやうである。一昨年、かの幕僚案世に傳へらるゝや、滿鐵社員會は奮起して「滿鐵の事、白日の下に議すべし」と叫んだ。われらは近時の滿鐵社員會のかかる政治的行動について全く知識を缺いでゐるが、去る八月頃滿鐵社員會有志の名に於いて、「全滿鐵社員に告ぐ」と題した文書が飛び、それには「事變後滿洲建國と同時に滿鐵本來の使命は全く完了し、こゝに滿鐵解體の時期に逢著せり最早、滿蒙の產業開發は日滿相互一體となり協力共存的になさざるべからざるは論をまたず、滿蒙の大資源を眼前にして、眞の產業化の積極的活動を容易ならしめざるべからず」と言ひ「小乘的觀念を捨てて大乘的觀念によつて滿鐵解體に積極的に働かんとするものなり」と記してあつた。敢へてこゝにこれを引用したのは、一昨年以來の滿鐵改組への動向は、未だ必ずしも事實的に消失し去つてはゐないことを例證せんがためである大きな課題は更に將來に殘されてゐることを明らかにしたかつたからである。

三

思ふに、松岡總裁今次の措置はまさしく當面の、主として事務的な方面での、社內統制組織の變改にとどまるものであらう。これは眞の滿鐵改組の名に値ひするものではなからう。われらは一層の注視を將來へかけるものである。

日・獨貿易調整の具體的意見交換
ドイツ經濟使節團を迎へ 八日工業クラブで

【東京國通】日本經濟聯盟會日本商工會議所では八日午後工業クラブで來朝中のドイツ經濟使節歡迎を兼ねて懇談會を開催ドイツ側よりキープ、クノール兩博士、駐日大使デイルクセン氏、日本側より鄉男、深井、兒玉、南條、有賀、櫛田の諸氏其他有力實業家十七氏出席、鄉男は主催者側を代表して來朝歡迎の辭を述べ之に對しキープ團長は感謝の挨拶を行つた後、ドイツの多難なる國情及び最近に於る國際情勢は從來の自由通商主義より統制經濟主義に移行し、從つてドイツも之に順應せざるを得ざるに至つたことを說明の後多少ドイツに對し不親切でもよいから打割つた意見を聽きたい旨を述べた仍つて兩國出席者は主として日獨貿易關係に就き隔意無き意見の交渉を行つたがこれが大樣は次の通りである

△日本側 日獨貿易を觀るにドイツは甚しき出超となり我國は非常に不利なる立場となつてゐるがこの片貿易を調節して貰ひたい

△ドイツ側 日本ではドイツが政府補償の下にダムピングを行つてゐるとの非難を聽くがドイツは金本位國であり金離脫國との競爭上已むを得ないことでダムピングであるといふ事は出來ないドイツとの片貿易は多少緩和出來やうが歸國後相談することにする

△日本側 ドイツ現在の割當制度は我國に甚しく不利である即ち我國より輸出有望なる商品に對しては嚴格であり輸出困難なる商品に對しては寬大で、例へば棉花の如きは輸入割當があつても輸出不可能だから割當制度の變更を希望する

△ドイツ側 割當制度の變更は他國との均衡もあり困難であるが歸國の上政府當局と懇談して見る

△日本側 同時に邦品の輸入に對し信用擴張を考慮されたい

△ドイツ側 考慮するやう取計ふもドイツの國情より觀察して即答は致し兼ねる

△日本側 邦品の輸入を增大する爲ドイツの他國よりの輸入を調節して貰ひたい

△ドイツ側 斯かることは困難であるが出來るだけ日獨貿易を圓滑にしたいと思つてゐる

火藥類取締に關する法令の公布に際して (四)

民政部警務司長 長尾吉五郎

其の取扱ひを共にした重なる點を申し上げますと先づ第一は煙火爆竹は滿洲火藥販賣株式會社の手に依つて行はれる火藥類の全國的販賣統制から除外せられ販賣會社に於ては之を取扱はないことになつており第二は從つて煙火爆竹に對する取締上の制限は一般火藥類に比し相當寬大になつております例へば製造營業に付ては作業地所轄省長の許可を要することになつていますが從來から營業を繼續している者に對しては成るべく新規則に於ては其の儘に認むる方針をとり同取締規則の附則を以て「本令公布の際現に製造營業を營む者にして本令施行後二ケ月以內に之を當該官署に屆出でたるときは本令に依り許可を受けたる者と見做す」こととしたのであります現在この特例の適用を受けるものがどの位あるかと申しますと先程申上げましたところの財政部硝磺局の免許に係るもので通常砲商と稱する煙火爆竹製造營業者が全國に一千三百四十九戶あり其の職工數三千八百十七人の多數に上つておるのでありますが併し之等の人々は康德三年一月末日迄に屆出を爲せば引續いて營業を繼續し得る譯であります、尙將來煙火爆竹製造營業者を新たに許可するかどうかに關しましては新たに大規模の業者を許可するが如きは現在の貧弱なる製造業者の生活を脅すこととなりまするし又現在の樣な貧弱なる業者を更に增加せしむることは將來の取締に禍根を殘すことになりますので製造業者の新規免許は成るべく之を認めざることとし國內生產により不足の分は輸入を以て補ふのが妥當なる措置かと考へております、煙火爆竹の輸入は住所地所轄省長の許可を受ければ誰でも出來ることとなつております。

×

次に煙火爆竹の販賣營業でありますが硝磺局の免許を受けた者が全國に六千戶現存しており之等の大部分は雜貨商其の他と兼營してゐるものでありますから規則の實施と共に全部之を禁止致しました上新規則に基き其の所轄省長の許可を受けしむる方針であります、尙煙火の取締と爆竹の取締とは根本に於ては同一でありますが一、二の點に於て爆竹の取締を稍々寬大に致しておりますが其等のことは直接規則を御覽願ひたいのであります。

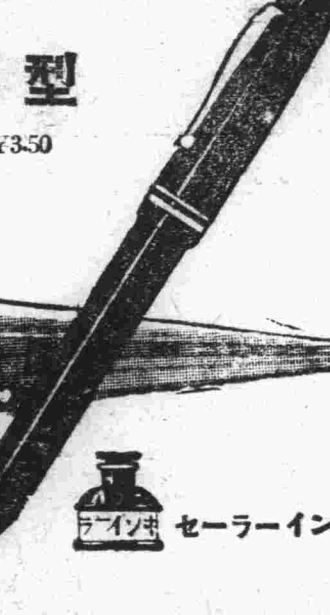
×

最後に我が滿洲國に於きましては國內到るところから硝石が非常に簡單に採取されるのでありますがこの硝石に對して何等かの處置を講じなければ折角正規の火藥類を取締りましても國內到るところに於きまして火藥類の密造を誘致し之を防止することは容易なことではなからうと考へられるのであります、先程から幾度も申し上げましたところの財政部の硝磺局といふのは主として全國で採取されます硝石の事實を司つている機關でありますがこの硝磺局は火藥類取締法施行と同時に廢止することゝなりましたので勢ひ硝石其の他の火藥類原料に對し民政部に於て適當な方法を講ずる必要に迫られたのであります、現在硝磺局の許可を受け硝石の製造を業と致しまする者を普通に硝戶と呼んでおりますが其の硝戶が全國で三九五戶之が職工數一千四百七人に及んでおります、從來之等の硝戶で製造された石を買取つてくれたところの硝磺局が今度廢止されることになりますると一方に於て之等の營業者の生活が脅威を受けますのみならず他面其の製造された硝石が國內到るところに散在することとなり勢ひ誰でも自由に手に入れられることになりまして治安の上に非常なる不安を與へるのであります、そこで民政部に於きましては財政部當局と協議の結果從來硝磺局で扱つてゐた硝石收買の事業をその儘滿洲火藥販賣株式會社に引繼がしめ同會社をして火藥類の販賣を兼ねて硝石の收買を行はしめる事と致したのであります、從つて販賣會社の硝石收買事業を確立すると共に火藥類の密造を根絶せしむる目的を以て火藥類原料取締法を制定し之が原料となるべき鹽素酸加里硝酸曹達、硫黄及硝酸、アンモニアの五種目に付き其の製造販賣、輸入及讓受、讓渡に付略々火藥類の取締と同樣の制限を加へることと致したのであります。

(完)

THE STATE OF NEVADA
DEPARTMENT OF STATE

米總領事の聲明を裏切る證明書

米國々旗を掲げ米系銀行を唯一の看板に預金を集めてゐた信濟銀行ハルビン支店は十月五日營業不振の結果閉鎖したが同行を米國籍なりとして從來事每に庇護してゐた駐哈米總領事館は閉店と同時に私に國旗を引降さしむると共に「米國とは全然關係なし」と奇怪な聲明を爲して預金者側の激昂を買つてゐる

寫眞は米總領事の聲明を裏切り米國との關係を物語る澤山の重要書類中の一つであつて、內容は米國ネバタ州國務長官ダブリユー・ジー・グレートハウス氏が信濟銀行より送附し來つた書類に對し右に州政府に保管しある同銀行の定款と相異なき旨を證明した一九三五年五月十八日附の證明書である

丁杏廬漫筆 (廿一)

「滄浪集」を讀む

古い滿鐵マンならずとも老滿洲の人には當時滿鐵切つての支那通滄浪森茂先生の名を今猶記憶し居るであらう、時の滿鐵調査課には滄浪先生以外露西亞通の森御蔭氏が居つたので世間では此の露西亞森に對して支那森などとも呼んだ滄浪先生は自然科學以前なら如何なる學問に關しても大學者として一家を成すべき立派な資質を稟けて居られたが幸か不幸か教壇と研究室との間を來往すべく其才餘りに奇に其情餘りに熱して居つた、早稻田の前身たる東京專門學校を出られた特に高田早苗氏は其才を惜んで母校に留まるや懇請された相であるが其れも斷はつたと云ふのは個中の消息を物語るものかも知れぬ

×

其れでも根津山洲翁の請を容れて創業期の上海同文書院に教授として赴任した事は支那其物に憧憬を覺えたのと育英に趣味のあつた結果であらう同文書院では「支那政治地理」の講座を擔當し極めて出色ある講義をされた、然し丹念に講義の草稿を作るよりも紹興酒を飲み支那の典籍を貪り讀んで詩を作る方により忙しかつたのかも知れぬ。

×

初期の同文書院は宛然梁山泊で教授なども皆一風ある人ばかりであつた、中にも西田鳴溪先生や田岡淮海先生などは一通や二通の變樣でなく天稟の變種であつたが滄浪先生は此と異なり正常の種であつたけれど比較的年少で變種の中で四五年も生長して居る間に遂に他年變器晩成の素地を作つて仕舞ふた觀がある。

最得意の時代は何と云つても滿鐵調査役時代で「役」の字が付くから矢張重役の內だなど笑はれた事が有つた此の時代にはよく滿洲及支那各地の大旅行をされ貴重なる調査資料も遺されたが一面では亦淮海先生などと盛に詩酒徵逐された、支那革命の時には陳其美藍天蔚等と交際あり多少の興味を感ずるかに見へたが其後は次第に離れて後年には川島浪速、金子雪齋諸氏と宗社黨の實際運動に參加するやふになつた。此れも失敗に歸してからは多くは失意の境遇で漸く晩年の困頓窮厄時期に入つた、大正十四年の春策者が外遊から歸つた時には淮海先生と共に大に歡ばれて大連のさる旗亭で三人で半日程大痛飲をやり淮海滄浪兩先生は大酒豪のこととて飲み足らず更に兩三軒梯子酒を飲み廻つたことを今でも記臆して居る、越えて昭和二年の春東京六軒町(?)の僑居にお訪ねした時には既に喉頭癌を病んで臥して居られたが余の來訪を痛く喜ばれ床上に起直つて余と筆問口答、口問筆答の會話をされたが滿洲問題や支那問題なとで國事以外には一言も觸れなかつた、それで余は話頭を轉じて近來御大作如何と尋ねたら「詩は氣分のものであるから斯う氣分が惡くては頓と詩興も湧かぬ」と淋しく笑はれた顏が今以て眼前に彷彿する此が最後の面會となつた詩文にかけては一代の才人であつたが、世渡の俗才は零であつたから死後蕭條たるもので琳數百篇の詩稿のみが唯一の遺產であつた、滄浪先生は矢張詩人として生れて來たのであらう、而して此の使命丈は死して辱かしめざるに幾かし

芝罘行

郎向青島去、妾自青島來、無端邂逅芝罘夕、芳心一片爲郎開、齊東烽煙羽檄急。壯士別飲酒滿罍。座中休唱求鳳曲。此情却恐傍人猜。半夜送客仰明月。喚郎帳裏啣殘杯香霧雲環宵易曉。生憎匆々驪歌催。孤影蕭々萊陽路。馬頭千山前山堆。郎行遠舍妾心絕憶郎空望暮雲頹。

此の詩は何んでも日獨戰爭直後山東旅行をやり芝罘の旗亭にて偶然青島から來たと云ふ藝妓に會ひ意氣投合して大に飲み醉後戲作を試み席上割箸を嚙んで墨を献じ書して與へたものと先生自身からか或は友人からか聽いたような氣がする

巫山

埋骨千秋何處奇、風流未碍作男兒、斯身願死巫山下、十二高峰是我碑

此は辭世では無いが辭世的意味のある爲めか死後の通知に印刷されて有つた。

淺間山

信陽玆嶽雄。烈士氣相同。鬱勃一腔火。千年吐不窮。

是なども面白い、總じて兒女の情に非んば風雲の氣を帶ぶるもの多し。

徂年離絮似流萍。夢裡人生不用醒。醉後只知天地濶。茫茫靜夜一聲音。

さる支那文人が滄浪集を評して作る所の詩彫琢を尙ばず、一に性靈の自然に任じて雄奇魂麗一格を各けず、警拔の處謫仙に似て鍛煉の處溫李の如し亦詩中の一仙也と稱揚せる蓋し適評であらう

商況欄 (十一月九日後場)

金銀市況

●上海標金
前引 二四七、七〇 本寄 〃 〃

●大連金鈔票
寄付 一〇九、八〇 引 一〇九、六〇 高 一〇九、八〇 安 一〇九、一五 出來高 二〇万

▲十一月十三日限 十一月二十八日限
寄付 一〇九、二〇 九、一五
歩 九、二五 九、三〇 九、五〇 九、五五

引 一〇九、六五 高 一〇九、七五 安 一〇九、〇五 出來高 七〇万 出來 不申

●大連鈔票銀大洋 現物 一四〇、五〇 一四〇、六〇

為替相場

▲上海爲替
▲日本向 一〇三、七五 一〇四、二五
▲倫敦向 第一回賣買 一志二片 一六分九 八分五
第二回賣買 第三回賣買
▲紐育向 第一回賣買 二九弗 一六分七 一六分五
第二回賣買 第三回賣買

大連爲替
▲上海向 九五、二〇 九五、三〇 九五、二〇
▲煙台向 九五、五〇 九五、六〇 九五、六五 九五、七〇

各地市況

●横濱生糸
當限 後場 引 九六九、〇〇
先限 九三九、〇〇

●哈爾濱大豆
十一月限 一、〇〇〇 十二月限 九四〇〇 一月限 九、二七五 出高來

●同 小麥
十一月限 一、三六〇〇 十二月限 一、四三〇 一月限 一、四三〇 出來高

新京取引所市況 (十一月八日後場)

現物 (一石値段)
定期 (混合百斤値段) 寄 引

大豆 先物 一四、〇〇 一車
十一月限 四、四七 四、四七 三車
十二月限 四、三六 四、一八 三車
一月限
九月限
十月限

高粱
十一月限
十二月限
一月限
二月限
三月限 高粱

鈔票對金票
十一月十三日限 十一月二十八日限
寄 一〇九、五〇 一〇九、五〇
引 一メ 一メ
出來高 万一千 万一千

國幣對鈔票
十一月十三日限 十一月二十八日限
寄 一〇九、五〇 一〇九、五〇
引 九一、六〇
出來高 万千 万千

手形交換 (八日)
金票 三三枚 一四七、四〇三、三六〇
鈔票 四四枚 七、一三三、七二四
國幣 三三枚 五六、二三〇、四六九

鮮魚小賣相場 (九日)

品名	最高	最低
活タイ	一〇	六〇
氷タイ	…	…
チヌタイ	…	…
アマタイ	…	…
中小タイ	四九	四八
小タイ	五四	…
サバ	一二	七
アヂ	二二	…
カレイ	…	…
ヒラメ	…	…
ボラ	…	…
コチ	…	…
コノシロ	一六	一〇
キス	三二	二二
イワシ	一〇	七
ムツ	…	…
アコウ	三〇	二四
サヨリ	三六	…
カナ頭	七	六
グチ	…	…
ホーボー	…	…
タコ	一八	一四
イカ	六五	一八
イエビ	七八	四八
ハモ	八	八
車エビ	一三	九七

呼倫縣の經濟諸問題 3

次にハイラルに於ける價格數量等を調べて見やう

△羊皮 價格は生皮上等品一枚國幣一圓三十錢、下等品七十錢乃至八十錢、滿洲式に加工した羊皮一枚國幣三圓—四圓
出廻り期の數量は
十月下旬—十二月 上等品 四、五萬枚
一月—二月 中等品 一萬枚内外
三月 下等品 四、五千枚
其の他 下等品 一萬枚

△羔子皮（流胎子皮） 緬羊の一ケ月内外のもの、價格は羊皮の上等品と同程度、皮襖用として加工後綴り合はされ一着分極惡のもの國幣二、三十圓、普通は七八十圓から上等になると二百圓内外のものもある、一九三三年度市政公署の調査に依ると出產量六七、七二二頭、出廻り數量は十四五萬枚と言はれてゐる

△前査皮（ゴリヤク） 價格 子の下等品と同程度一枚國幣八十錢内外、出廻り期數量は剪毛後七、八の間、市政公署調査に依れば一九三三年度二一、三三一枚、實際の數量は四萬枚乃至五萬枚

△山羊皮 價格は羊と同樣冬期を主とし數量は市政公署の調査に依れば一九三三年度四八〇枚

△牛皮、馬皮 先づ牛皮を年齢別に分けると
イ、成牛皮（取引上三種に分ける）、牡牛皮（去勢せるもの）皮質微密彈力性に富み最上品、乳牛皮—牝牛皮牡牛皮より割安、芒牛皮—牡牛皮出廻り極少
ロ、小牛皮
馬皮としては價格
牛皮（乾皮）一プード一等品國幣廿圓、註一頭分は大抵半プード二ファント位
生皮（凍皮）は乾皮の半額乃至五分ノ二
馬皮（乾皮）一枚冬皮國幣四圓—四圓半
同 夏皮同 三圓五十錢
小牛皮 同 同 一圓
馬駒皮 同 同 一圓五十錢
出廻數量、牛皮 二萬枚内外
馬皮 一萬五千枚内外

△狗皮ー價格は 生皮上等品一枚國幣十二圓
同 下等品同 三圓—四圓五十錢
出廻數量は十月頃毛の完全に發育したものを屠殺する、一年千百六十枚内外

△家猫皮價格は 生皮一枚國幣四十錢—一二十錢 出廻數量明確ならず

△熊皮 一價格一枚國幣廿圓—四十圓

△狼皮 價格一枚國幣十二圓—廿五圓

△[illegible]皮 價格一枚國幣四圓六圓 鹿角は藥用として滿人に珍重せられる一對百圓—二百圓

△鹿子皮（一名ノロ） 一枚國幣五〇錢—七〇錢

△水獺（カワウソ） 生皮一枚上等品國幣七十圓内外

△麋鹿（ローシイ） 生皮一枚四圓—五圓

△狐狸皮（リサー） 價格一枚十五圓内外 出廻數量二、三四九枚

△山猫（バルソック） 生皮一枚二五圓内

△旱獺皮（タルバカン） 生皮一枚上等二圓八十錢（昭和八年） 同 同 一圓八十錢（同 十年）

△栗鼠（リス） 生皮一枚一等品一圓五十錢 但し二等品は二枚、三等品は三枚で一等品一枚と見做す 出廻り數量四萬程度

△黄鼠皮（オリヨオカ） 價格四圓—五圓 其他沙狐皮（コルソク）、ソロンゴイ 毛子皮、貂皮、スクンス、クーニツア等產するものはあまり多く出ず價格も一枚でない

北滿

哈爾濱油房界 俄然活況を呈す
原料難一掃・好材料山積し 大連油房を壓迫す

【ハルビン支局發】北滿油房業は各種の好材料を好感して俄然活況を呈し既に百二十萬枚の先物契約があり、來る十二月上旬までに輸出商に渡すべきもの三百七十二車を數へてゐる現狀である、頃日來、極度の原料難に妨げられて一部の不渡を惹起するのではないかと危まれてゐたが、松花江の結氷遲延、增水などにめぐまれて河豆が三日に七百十噸、四日に六百七十七噸ほど到着せる外、約一千噸の在貨激增により原料難は解消したので、哈爾濱油房十一軒（市内九、市外二）は一齊に操業を開始し、更に濱綏沿線でも操業開始したので果然增產氣配を示すに至つた。四日には日產一萬五百二十八枚、五日は更に一萬二千二百四十枚と劃期的立直りを演ずに至つた今後とも增勢を辿るべく年内には二百萬枚の生產高と見越されてゐる

而して各種の條件よりして意外にも大連油房よりはるかに優位を占め堂々と之を壓迫するに至るものと豫想される之が原因については

一、米滿高による内地農村の購買力の增大、年内には約二百萬枚の新規成約が見込まれてゐる

二、本年度の大豆作は南滿減收に對して北滿は二割余の增收であり大連油房に比し北滿油房が原料手當の點ではるかに有利の地位にあること

等より推して本年度の北滿特に哈爾濱の油房が大連油房よりはるかに活況を呈することは必然である、ただ懸念されてゐることは豆油の鐵道輸送施設が未完成のため豆油の輸送が停滯してゐることである

軌條變更以來哈爾濱鐵路局では哈爾濱站にポンプ一台を据え附け辛うじて廣軌より狹軌に豆油の積換を行つてゐるが油房の最盛期に入るに從ひこれだけの設備では到底完全なる豆油輸送を行ふことが出來ず、一般油房業者は一日も早く豆油タンク車積替へ（廣軌より狹軌に）作業の完成せんことを希望してゐる

民族融和は先づ言葉から
と、海市にも日語學校開始

【ハイラル國通】今般市政籌備處では眞の五族協和の趣旨の下に滿・露人に日語を教育することとなつた 開校日は十一月十日で資格は十四歳以上で相當教育あるものとし成績優秀なるもの三名には授業料を免ずるの特典があり採用數は滿人四〇名、露人四〇名で目下滿露人の日語熱熾烈な折からとて相當申込者ある模樣である

米國系信濟銀行の内情續々暴露す
治外法權楯にインチキの限り 預金者大會で糾彈

【ハルビン國通】去る十月五日閉鎖した當地米國系信濟銀行は預金者より七名の整理委員を設け整理事務を開始したが、右の結果米國籍の治外法權を楯にしてインチキの限りを盡してゐた同銀行の内幕が暴露された即ち公稱資本金十萬弗も實際は僅か十萬圓に過ぎず、同行は米國銀行法に依り設立されたものと誇稱し、設立以來六年間白系露人に働きかけ現在の預金者總數二千七百名、預金額百廿萬圓に達してゐるが現金殘高は僅かに三萬六千圓で之に上海本店より送金して來る事となつて居る三十萬圓及び家屋評價々格卅萬圓を以てしても預金額の三四割に過ぎず、預金者にとつては燒石に水である

尚從來同行には米國旗を掲揚せしめ事毎に庇護してゐた駐哈米國總領事館が閉鎖と同時に密かに米國旗を引降さしむると共に今月四日に至り信濟銀行は從來米國籍なる如く傳へられてゐるが事實無根で當總領事館とは何らの關係なしと聲明し態度を豹變した奇怪な行動は預金者をいたく激昂せしめてゐるが、米國前副領事に對しても不正貸出を行つて居り、同行と米國總領事館との間には意外の事情伏在するに非ずやと疑惑の眼を以てみられてゐる

尚預金者側では來る十二日預金者大會を開催して重役の背任行爲と米國總領事館の國際信義に悖る責任回避彈劾の氣勢を擧げる事となつた

哈市碼頭船貨客輸送概數
—十月卅一日現在—

【ハルビン國通】本年開江より十月卅一日までのハルビン碼頭船貨客輸送概數及前年度との比較左の如し

項目		數量	前年度比較
△船舶	入港	七六八	減一三〇
	出港	八五三	減一〇八
△船客		一八六、七九〇	增二〇、九六八
△貨物（單位噸）	入港	七七、四九九	增一、七〇八
	出港	一〇九、〇一一	增六六、二二一
△内譯	移出	二一、〇四四	增一九、七三〇
	移入	三五一、三六一	減三五、三七
移入内譯	大豆	一四〇、三三七	減一三三、九六八
	小麥	九二、七六六	增九〇、八二三
	石炭	一六六、七七一	增一二、四四〇
	木材枕木	三九、五〇五	減二、九三五

出入船舶隻數の減少は本年打續いた松花江の大減水による大豆減は昨年度の作柄惡の爲であるが小麥は新穀の出廻り良好の爲石炭は船舶用、薪用需要增加により共に增、木材は新築見合せが多く減となつてゐる、船客の增加は奥地の發展であるが入港に比し出港が遙かに多いことは奥地が落ちついたことを如實に物語つてゐる

三浦枝隊訥河に凱旋

【訥河國通】九月廿七日チチハル原隊出動以來帽子山の激戰に平康德匪を潰滅、更に零下卅度の寒氣と密林泥濘を冒して嫩江方面に討匪行を續けてゐた及川〇隊主力三浦枝隊は各地に皇軍の威武を發揚樂土建設の礎石を固め討匪地を撤收したが、谷村 菅野 服部 大尉の率ゐる麾下健兒は八日午後一時相前後して訥河に凱旋して軍裝を解いた

東滿

吉林領警殉職者の招魂祭擧行

【吉林國通】在吉日本總領事館警察署に於ては來る十日外務省殉職警察官五十五名の第五回招魂祭に相當するので同日午後二時より當地居留民會横廣場に於て神式により盛大なる招魂祭を擧行する

吉林武道場開場式
盛大に擧行

【吉林國通】市民待望の吉林武道場は憲兵分隊内に新築中のところ愈よ此の程竣工を見たので九日午前八時半より在吉日滿有志を招待し盛大なる晴れの道場開きを擧行式後直ちに試合に入つたが尾高司令官、森岡總領事、中野總務廳長、山嶺副局長以下多數の賞品寄贈があつた爲め各選手とも白熱的大接戰を演じ盛大を極めた

吉林國婦
あす總會開催

【吉林支局發】來る十一日は當地國防婦人會吉林支部の創立二十周年記念日に當るので當日同支部にては新京より本部員の臨場を請ひ午後一時より吉林劇場に於て總會を開き先づ一ケ年間たぬける會務の報告をなしたる後今後の活動方針につき種々懇談を遂げる筈である、尚同支部にては目下當地守備隊管下の將士に對する慰問袋を募集中にて既に約五百個が集まり引續き各會員間に作製中であるが此慰問袋は既に樺 縣方面に水害と酷寒を冒して討匪工作に從事しつゝある第一線の將兵にまで普ねく配附さるゝ筈である

日滿合辦自動車株式會社設立の座談會開催

【吉林支局發】既報日滿合辦自動車株式會社設立の件につき各關係者の意見交換、官廳方面の方針打診等の爲め七日午後二時より大馬路吉林無盡會社内にて日滿有志の座談會が開かれた

町田副領事、警務廳大瀨指導官、警察廳松川技士等を始め大同、吉蘭、吉盤各自動車營業主、日滿有力者等が之れに參加したが、司會者となつた岸原氏より今日迄の經過を一わたり説明、次に町田副領事は本事業には双手を擧げて贊成するが各地に於ける實例により資本問題、利益配當、滿人出資者に對する責任轉嫁等種々の問題を惹起し遺憾の點尠なからざることに鑑み、事前に十分なる研究を遂げて圓滿なる進捗を期すべきこと、並に新會社にて已設各公司の自動車買收を行ふ際には不公平なき樣との希望を述べ、更に大瀨指導官より官廳としての方針につき説明を與へたる後愈よ座談會に移つたが各員の見解には可なりの相違あり提出問題の不徹底の憾みありし外、滿人の言語不通による障碍等もあり騷然たる論議に時間を費したるのみにて何等具體的に纏まる所なくして散會した

各部隊奮戰

【吉林國通】松井討伐隊の雨宮部隊〇〇名は七日午前九時頃敦化縣大平山西南方四粁の地點に於て匪首不明の二十數名と遭遇交戰三十分の後敵匪二名を斃し之を潰走せしめた 又山之内部隊の上田〇隊は七日午前二時半頃拉子溝東南方十五粁の地點に於て匪首李三挾の根據地を夜襲し之を潰滅した、本戰鬪に於る敵の遺棄死體三、負傷多數の見込み更に坂口討伐隊の荒武〇隊は七日午前七時老金廠南方四十粁の松花江岸小 子溝附近に於て楊司令の率ゐる約二百名の共匪が河中なるを發見、之を急襲して敵匪に徹底的大打擊を與へた、本戰鬪に於て敵の遺棄死體廿七に及びその他武器、彈藥多數鹵獲した

南滿

關東州内の地下修正調査
愈よ本格的に着手

【大連支社發】滿洲國の發展各種產業の進展と共に關東州内の地價にも相當變動を來したので關東州廳では管下各民政署に命じて二ケ年の日時をかけ地價の修正調査を行はしむることになり大連民政署では既に九月より一部々分的に着手してゐたが愈々本格的に調査を進めることになり七日午前民政署に各會長代表二十數名を招集し打合せを行つた

"滿電の奉天進出 簡單にゆかぬ"
古賀支配人巷說を打消す

【大連支社發】最近滿電の奉天進出說頻々と傳へられ、奉天交通界に異狀のショックを與へてゐるが右說を齎らし滿電本社に賀來支配人を訪ひ眞相を叩けば氏は迷惑相に大樣次の如く語る

奉天電鐵の買收問題は事實としても隨分縁遠いことだ第一滿電の社債を滿鐵に肩替りをすることすら未だに大藏省で足踏みをしてゐる狀態で、何時交通會社の創立を見るか豫斷を許されない事情から推思しても簡單には行かぬ、内々談合したことはあるが單なる談合で買收と云ふが如き具體的問題には全然觸れてゐない云々

三毛部隊の討伐狀況

【奉天國通】三毛部隊司令部入電—再三再四の討伐により東岔子方面に逃亡した五龍軍匪は七日午後零時過ぎ井上討伐隊の中庄乘馬隊に發見され潰滅的打擊を受けて山中に遁入したが敵の死傷多數の見込み、我に損害なし

×

數日來裝國士、呂島の合流匪を追擊中の井上討伐隊柴崎、齋藤兩部隊は七日大木溝附近に潛入せる該匪に對し攻擊を開始し、潰走せしめたが右戰鬪に於る敵の損害は匪首仁義好以下廿二名を射殺し、捕虜四、人質十七名を奪還我に損害なし

家庭

新しい母の態度

女性特有の利己心を捨てよ

子供に壓迫を感じさせるな

近頃の新聞雜誌等で、女性の身の上相談の繁昌してゐることが目に立ちます。又一方には親子心中特に母子心中が毎日のやうに

新聞の

面を賑はして居ります。勿論身の上相談に質問を出したり、母子心中をするのは、表面に出てゐる極少數の女性であります、けれども表面に出ない女性の中にも、これに共通た惱みを持つものゝ多く存在するのは否むことが出來ませぬ。女性の惱みを除くためには一方には女性を護る法律、制度が必要でありまして、それがためには現行の法律制度を改善する運動も必要になつて來る譯であります。他方には惱みの中に女性自身も、心の持ちやう、考へ方をかへて、朗らかに生きる道を

開拓し

て行くことが必要であります。これまでの母性は一般に利己的傾向がありました。どこまでも、我が子、我が家　我が夫と云ふやうに利己を重んじ過ぎたためであります。何故女性は利己的になるか、現代の女性の生活は多くは家の中に限られてゐます。恰かも、しじみ貝の如く家を自分の城廓として、その中に生活してゐるのであります。眼界が狹く社會の見透しが出來ぬ、自然盲目になるのは無理はない、止むを得ないのであります。この母の態度から來る弊害は、當人の母親の氣のつかぬ間に自分の子供にその

影響が

來るのであります。これまでの良妻賢母型と云はれる母親は、教育に對する一かどの自信があります。それで自分の考へを我が子に押しつけようとする弊があります。然るにその子は年が大きくなるにつれて母より離れやう、遠ざからうとする。母の顏を見ると何か重荷を覺え、壓迫を感ずる。心では濟まないとは思ひつゝ、何となく母の傍に居るのが窮屈で仕方がない、母から解放されたいと思ふ氣持をどうすることも出來ぬ。母の一方ならぬ勞苦に對し、中には子に對して報ゐるを考へる母がありますが

此の母

は決して、子に對して報ゐを要求してはゐませぬ、ひたすら我が子を立派な、えらい人になれかしと考へるだけであるのに、その子は、母に對して壓迫を感じ、うるさいと思ひ、憂鬱を懷かずには居られないのであります。このやうな母子關係の方は世にたくさんありますが、母として眞に反省する必要があると思ひます。それには先づ母が我が子を自分の子と考へる思想から開放したいのであります。我が子を私有物と考へたのはもう古い考へ方であります。我が子には違ひない兩人の間で出來た子には違ひはありませんが

父母の

兩人のすきにはならぬものであります。子供は大自然から授けられたもので、これを生み、これを育て、これを教へる務めを、母たる者に果さしてもらうのである、報ゐだとか、そろばんを考へないで、子を產み子を育てることは尊いことだと、喜びを感ずるのが眞の新しき母の態度であります

種類によつて違ふ　クリームの用ひ方

―持つてゐるか御存知ですか

お化粧の時に用ひますクリームにもいろ〳〵の種類があつてその用途も各々違ふ事はよく御存じでございませう。

性質など

クリームはその性質の上から大體三つにわける事が出來ます。

一、バニシングクリーム(無脂肪クリーム)

二、コールドクリーム(油性クリーム又は脂肪性クリーム)

三、マッサージクリーム(脂肪中性クリーム)

◇…(一)…◇ のバニシングクリームは無脂肪クリームの中で一番用途のひろいもので、バニシングとは消えてなくなるといふ意味でお肌にぬると光澤もなくベト〳〵もせず、肌へ消へこんだ樣になりますのでこの名がついたものでせう。これは皮膚を淸淨にしお肌をなめらかに、色を白くするに效果あるクリームで御座います。ですから白粉下として理想的です。

◇…(二)…◇ コールドクリームの方は油性で、臘質又は脂肪を水で乳化して作つたものであります。これは皮膚の艶をよくし淸淨にし適當な脂肪を與へて荒れを防ぎ、皮膚の榮養となるもので濃化粧には是非必要のもので御座います。マッサージは美顏術用として非常によろしく夜間お寢みの時にこれをつけますと織らず知らずの間に肌が美しくなります油性ですから餘り澤山つけ過ぎぬ樣注意が大切で御座います

◇…(三)…◇ にはマッサージクリーム、これはハイゼニックともいはれ特殊の作用をいたすものです。以前はマッサージに多く用ひられました。急ぎの場合の化粧直しや埃によごれた顏のお手入れに使ひます湯や水を使はないで顏を洗ふ時などに用ひますとよろしう御座います。

お料理獻立

蟹の甲ら蒸し

これは生の蟹の方が勿論美味しうございますが、鑵詰のものを用ひましてもよろしうございます。

【材料】(五人前)蟹五つ三つ葉(又は靑豆)少々、煮出汁一合、鷄卵二つ、醬油、みりん、砂糖少々

先づ一旦丸のまゝゆでゝ甲と身とはなし、丼に煮出汁、醬油　みりん、砂糖　玉子を混ぜた中へ蟹と三つ葉を入れて混ぜたものを甲へつめ、十五分蒸してすゝめます。

興味深い！刀劍の話〔二十〕

井上刀劍店主・記

雷煥、吳國に至り其氣を尋ぬると豐城の獄屋より起つてゐるとのこと、そこで獄屋を發し尋ねるよ、土臺石の下に、石の唐ひつがあり、其內に寶劍二振が發見ざれた、よく見ると龍泉大阿と金銘がある、雷煥は大に驚いて、其由を

張華

へ申し遣はしたところ、惜さの餘りに、陰の劍大阿を己れの方にかくして置き、龍泉一振を送つたと云ふ、張華は是を見て「まがふ方なき干將なり、耶なきこそ不思議なれ」と大いに怒つたが「されども神物たれば雌雄離れ有べきにあらねば遂には、一所によらん」と、その刀を秘藏しておいた、張華は後に讒言で殺されたが、其劍は行方知れずになつた、雷煥は死ぬ時其子雷華を召して「我帶せる劍は

鏌耶

なり、干將の劍はかく〳〵の次第なり汝心を付けて求めよ」と遺言した、其後雷華は彼の大阿の劍を身からはなさず持つてゐたが、或時延平と云ふ川を渡らんとした時腰の劍がをのづから拔けて、川の中に落ちてしまつた、雷華は驚いて水夫を入れて、探さしたが、水夫が浮出で、言ふには「某かし水底に潛り入り候に劍は見ず、只五色の文あり、龍二疋同所に蟠り居候然るに忽ち波逆立紫の

光り

ひらめき候故、恐しく存じ、其儘にて返りて候」と言ふのである、雷煥はそれを聞くと、「さては雌雄の劍龍に化して、水底に入しと見得たり此上は再び人間の手に返る事は有るべからず」と尋る事をそれ以上しなかつたといふ

演藝放送新人募集　締切り本日限り

本社主催演藝放送新人募集は本日を以て締切ります。應募希望者は至急本日中に本社宛申込み手續きをおこり下さい。

けふの番組

(M・T・U・Y 新京放送局)　十日(日曜)

(朝)

六、三〇　建國體操(滿語)

六、五一　ラヂオ體操(東京)

七、一〇　入港船の御知らせ　氣象通報(大連)

八、三〇　子供の時間　第四回兒童唱歌コンクール

一〇、一〇　子供の時間(滿語)(哈爾濱)

一〇、四〇　淸唱　一、五花洞　二、別虞姬　靑衣　寶　四　胡琴　張立明　月琴　錢寶樹

(晝)

一〇、五九　時報(東京)

一一、〇〇　ニュース(東京)

一一、五〇　講演＝全日滿中繼＝　滿洲に於ける電氣通信事業に就て　滿洲電信電話株式會社總裁　山內靜夫

〇、二〇　稽古場風景(東京)　箏曲の稽古　＝牛込仲町宮城道雄宅より中繼＝

〇、四〇　陸軍特別大演習實況　＝演習現場より中繼＝(鹿兒島)

二、五〇　經濟市況(東京)

三、〇〇　ニュース(東京)　引續き

五、〇〇　子供の時間(臺北)　お話　砂糖　土井季太郎

(夜)

六、〇〇　ニュース

六、二〇　今晚の番組　氣象通報、明日の番組

六、三〇　講演　燈火管制演習に就て　新京防護團長　新京地方事務所長　武田胤雄

七、〇〇　陸軍特別大演習實況(鹿兒島)　＝演習現地より中繼＝

◉備考　雨天の際は左記俚謠とす

俚謠　(イ)ヨサコイ節　(ロ)はんや節　(ハ)鹿兒島正調小原良節　唄　吉本はる　三味線　福留そめ　鼓　西三之助　太鼓　寶地榮次

七、三〇　日曜特輯ニュース演藝(東京)

七、五〇　ラヂオドラマ(東京)　薩摩の丸彈　作並演出　水木京太

八、三〇　時報　ニュース(東京)

八、四〇　ニュース　氣象通報(滿語)　番組豫告

九、〇〇　舊劇　大登殿　公餘倶樂部票友

九、四〇　講演(鮮語)　乳兒の育兒法　姜完東

一〇、〇〇　北滿の時間(露語)(哈爾濱)

けふの放送者

右上からラヂオ・ドラマ「薩摩の丸彈」の原作者水木京介氏、出演者の汐見洋氏、左上から同じく加賀晃二氏・講演の山內電々總裁

第四回兒童唱歌コンクール

前八・三〇より各地代表の競唄

第四回兒童唱歌コンクールはけふ午前八時三十分より、札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、廣島、熊本の各代表小學校兒童によつて行はれます、各學校ともに課題曲を一つと他に一曲、二曲づゝを競演することになつてゐるが、何處が一番優れてゐるか聽きものです。

(札幌)

一、‥(男兒)‥札幌市西創成尋常小學校兒童　ピアノ伴奏　濱田君代　(イ)(課題曲)剛健(兒童唱歌)　(ロ)軍艦(新尋常小學唱歌)

二、‥(女兒)‥北海道夕張郡由仁尋常高等小學校兒童　ピアノ伴奏　永山傑　(イ)(課題曲)萩(兒童唱歌)　(ロ)太平洋(新尋常小學唱歌)

(仙臺)

一、‥(男兒)‥仙臺市原町尋常小學校兒童　ピアノ伴奏　工藤富美子　(イ)(課題曲)山に登りて(新尋常小學唱歌)　(ロ)軍艦(新尋常小學唱歌)

二、‥(女兒)‥仙臺市南材木町尋常小學校兒童　ピアノ伴奏　跡邊和子　(イ)課題曲　萩(兒童唱歌)　(ロ)朝謠(兒童唱歌)

(東京)

一、‥(男兒)‥東京市澁谷區大和田尋常小學校兒童　ピアノ伴奏　關根保江　(イ)課題曲　剛健(兒童唱歌)　(ロ)朝の歌(新尋常小學唱歌)

二、‥(女兒)‥東京府女子師範附屬小學校兒童　ピアノ伴奏　早川亘萬子　(イ)(課題曲)忍耐(新尋常小學唱歌)　(ロ)秋の夜半(ヴエーバー作曲佐々木信綱作詞)

(名古屋)

一、‥(男兒)‥岐阜市本鄉尋常高等小學校兒童　ピアノ伴奏　安宅進　(イ)(課題曲)山に登りて(新尋常小學唱歌)　(ロ)スキー(新尋常小學唱歌)

二、‥(女兒)‥岐阜市明德尋常高等小學校兒童　ピアノ伴奏　松村定　(イ)(課題曲)萩(兒童唱歌)　(ロ)新島守(新尋常小學唱歌)

(大阪)

一、‥(男兒)‥兵庫縣御影師範附屬小學校兒童　ピアノ伴奏　伊藤春藏　(イ)(課題曲)山に登りて(新尋常小學唱歌)　(ロ)太平洋(新尋常小學唱歌)

二、‥(女兒)‥大阪市南大江女子尋常高等小學校兒童　ピアノ伴奏　古田文子　(イ)(課題曲)忍耐(新尋常小學唱歌)　(ロ)朝の歌(新尋常小學唱歌)

(廣島)

一、‥(男兒)‥廣島市中島尋常高等小學校兒童　ピアノ伴奏　光未覺　(イ)(課題曲)山に登りて(新尋常小學唱歌)　(ロ)軍艦(新尋常小學唱歌)

二、‥(女兒)‥廣島三原女子師範附屬小學校兒童　ピアノ伴奏　平川實枝　(イ)(課題曲)萩(兒童唱歌)　(ロ)軍馬隼號(新小學唱歌)

(熊本)

一、‥(男兒)‥熊本市碩臺尋常高等小學校兒童　ピアノ伴奏　林正範　(イ)(課題曲)剛健(兒童唱歌)　(ロ)我國兵士(檢定唱歌)

二、‥(女兒)‥熊本市碩臺高等小學校兒童　ピアノ伴奏　林正範　(イ)(課題曲)萩(兒童唱歌)　(ロ)スキー(新尋常小學唱歌)

大演習に因む新作　ラヂオドラマ「薩摩の丸彈」

薩藩の受難克服の姿を描く

〔後七・五〇　東京より〕

作並びに演出……水木京太

景場

第一景　鹿兒島灣頭

第二景　決死隊

第三景　船上折衝

第四景　砲火應酬

第五景　沖小島砲臺

―キャスト―

シーボルト　大川平三郎

ニール　小杉義男

キウパア　加賀晃二

奈良原　汐見洋

海江田　御橋公

町田　織田信

見張一　小杉義男

同　二　御橋公

靑山愚知　汐見洋

同弓太郎　小松健一

井上直八　生方明

他に隊士、侍、守衛大勢

及擬音等

このラヂオドラマ「薩摩の丸彈」は本日大演習地に因み新作したもので、當時生麥事件につながる薩摩藩の受難克服の勇ましい有樣をドラマとしたものである。

◇……◇

生麥で、島津三郎の大名行列の行先を橫切つた英國商人を斬りその他の怪我人を出したことが原因となり、英吉利艦隊は堂々たる陣形を整へて鹿兒島灣頭に押し寄せて來たのであつた。しかしながら既に死を決した薩摩隼人たちは意氣衝天物すごく鹿兒島城中に君主から賜はつた酒を飲み晴れの戰ひへの門出を祝した彼等の中でも海江田、奈良原などといふ勇士が次々と立ち上つて、英商人の無禮なる行動を憤慨し、士氣を鼓舞するのであつた。そして今や彼等兩人は身をもつて英艦に乘り込み談判に乘り出そうとしてゐるのである。だがそれは一つの計略實は決死隊なのであつた。からして愈々彼等は英艦に乘り移つて行つた。そしてシイボルト、ニイル、キウパアなどといふ英國將官と談判をした。しかしその結果は遂に意見の一致を見ず、鐵火をもつて應酬をしなければならないことになつた。談判破裂なのだ。岸を嚙む怒濤と烈風の中に、薩摩隼人と英艦隊との激戰が展開された白壁のやうな敵艦は次第に海岸に近づいてくる　しかし薩摩隼人達の發砲はとう〳〵命中した。敵艦は火災を起したのだ靑山愚痴や井上直八(後の井上元帥である)などこの戰ひの勇士である薩摩隼人たちの死鬪は遂に敵艦隊を擊退してしまつた。エイ・オーの閧聲が起る、と同時に遠く英國々歌を奏する軍樂が聞えてくる。

宮城道雄氏の箏曲の稽古

〔一〇・二〇宮城氏宅より〕

宮城道雄氏の宅から箏曲のお稽古を中繼放送致します。六七才の可愛らしい子供さんたちから、相當な年輩の名取りの方々に至るまで皆先生から色々の注意指導をうけ乍ら、熱心な稽古をされてゐる稽古場風景で、お教へになる曲目は手ほどきものから、古曲、歌謠曲に最後は合奏ものの一齊教授で、大體次の樣なものです。

一、ロバサン(手ほどき)　葛原しげる作詞　宮城　道雄作曲

(一)ロバサン〳〵トコトシトオミミピヨコ〳〵トコトツト。

(二)カララン〳〵クピノスズオミミピヨコ〳〵トコトツト。

二、六段(古曲)

三、ヘイタイサン(童曲)　葛原しげる作詞　宮城　道雄作曲

(一)ラッパニアハセテヘイタイサンススメヨススメヨヘイタイサン、一二。一二。

(二)アシナミソロヘテヘイタイサンススメヨススメヨヘイタイサン、一二。一二。一二。

(三)マンナカススムハレンタイキ、メイヨノメイヨノレンタイキ、ヒラ〳〵ヒラ〳〵ヒラヒラ〳〵。

四、千鳥の曲(古曲)

五、お手々ポンポン(童曲)　葛原しげる作詞　宮城　道雄作曲

(一)お手々ポンポン盲鬼後でボンボンまたボンボン後でボンボンまたボンボン前でもボンボンまたボンボン後へ前へ手をのべて手ばかりのべて盲鬼おつかなさうな歩き振。ほら〳〵後よほら前よ。ボンボンボンボンボンボン〳〵ボン。

六、秋の言葉(古曲)(前唄)

七、潮音(歌謠曲)　島崎藤村作詞　宮城道雄作詞

わきてながるるやほじほのそこにいざよふやほじほのそこにいざよふうみの琴。しらべもふかしももかはのよろづのたみをよびあつめときみちくればうららかにとほくきこゆるはるのしほのね。

八、末の契り(古曲)(前唄)

白波のかゝる憂き身と知らでは、わかに海松布を戀すてふ、渚にまよふ海士小舟(合)浮きつ沈みつ寄る邊さへ(合)荒磯傳ふ芦田鶴のなきてぞともに。

九、八重衣(古曲)(手事)

十、暁の海(合奏)　葛原しげる作詞　宮城　道雄作曲

(一)海原をこめし夜の霧はれわたり波靜いとも遙か夜もすがら寢ねてまどけき夢路の安らけくさめたりや翅輕き鷗何方へわたる希望の帆を張りてはやも行く船あり。

文藝

募集小說選外佳作

快晴（二）

今村久米子

からして心の重石だけは取除け得たものゝ叔母の前でも廣言した通り一家の生活を負擔して行くためには、銀行の事務員の收入ではどうにも足掻がつかなかつた、萠子はひとり思ひ惱みながら銀行からの歸途をA町に廻つて、暮れなずむネオン街の、喧噪に入る前の忘れられたやうな靜寂の一ときを、右に行き左に行き、そして女給募集の白いはり紙の前に、いく度か躊躇の足を止めるのだつた。

いく度もの逡巡後、萠子が勇を鼓して入つたのは、銀行から程遠からぬM橋際のリリー舞踏研究所だつた、そして三ケ月の教授を受けて初めてダンサーとして公園前のアトランチツクダンスホールのフロアを踏んだのが、つひ半月ばかり前のことだつた。

ダンサーになると同時に辭めやうと思つてゐた銀行だつたが、その頃急に行員の更迭があつて、馴れない行員が本店や他の支店から轉勤して來たので、萠子の體は一層忙しくなつて、辭職を云ひ出す機會がなくなつてしまつた、それに、ダンサーにはなつたものゝ、研究所で教師と踊る時のやうにはホールでは踊れなかつた。さま〴〵な癖のあるそしてさま〴〵な癖をつけて踊る客の相手をする事は、今の萠子にとつては苦痛以上の苦痛でしかなかつた。だから萠子は半月にもなるのに、まだはつきりとダンサーで立たう、とは決心がつかなかつたのだ、生來、かうした官能的な逸樂には興味がなく、むしろ輕蔑してゐた萠子だつたから、たまに續けて踊つてくれる客があつても、お世辭一つ云ふのでもなく、至極ぶつきら棒な顔をして只ぶら下つてゐるに過ぎなかつた、それに萠子にはもう一つ大きな不安があつた、銀行の取引客とか或は行員の誰かゝら、自分の事が銀行に知れはしないかといふ不安、この不安のために萠子はホールでも一瞬間も緊張を弛める事が出來なかつた入つて來た客が一寸でも誰かに似てゐると思へば、すぐ控室へ驅けこんで、カーテンの隙間からチツとホールの樣子を見る。そして知らない人であれば安心して出て行くけれど、知つてゐる人ならいつまでも出て行けない。萠子の心身の憔悴は、晝夜の無理な勞働にも原因してゐたけれど、それよりもかうした氣苦勞から來る所が大きかつた。

然しこんな矛盾した生活がいつ迄も續く筈がない。萠子がどんなに警戒してみた所でダンサーが公衆の前に並べられた商品に等しい存在であればいつかは誰かの口から耳へそして銀行にも知れるのが當然だ。

萠子の怖れてゐたその日がつひに來た、ホールへ出始めてから一ケ月にもならうとする或る日、朝から何回となく掛けてくる本店からの電話の取次に、萠子は電話室と大高の机とを〃またか〃と思ふ程往復させられた。

然し脛に傷持つ者の敏感さでそれが萠子自身の問題である事をすぐに悟つてしまつた大高はすぐに自動車を命じて本店へ行つてしまつたが、萠子はそれからの幾時間かを、まるで上の空で過した。連日連夜の無理すぎる勞働と睡眠不足とで、只モヤ〳〵と赤の一色に塗りつぶされてしまつたやうな頭の中に、不規則に浮び上つて來るものは、短氣な支配人の憤怒の形相と、責任を問はれて平蜘蛛のやうに謝罪してゐる大高の姿と、そして銀行を追はれて行く自分に浴せかける行員達の無數の冷笑や嘲笑や罵言の表情であつた。

營業時間の終らうとする三時すぎ、本店の大高から電話があつて、萠子は本店へ急行を命じられた、それから何十分かの後、本店の支配人室で營業部長を加へた三人の前では萠子がいく度かいはうとして云ひ出し得なかつた今までの經緯を悔恨の泪と共に赤裸々に語るのだつたが、聞きおはつた三人の面には萠子が想像してゐたやうな怒りの色はなく眞面目な事務員としての生活を清算せずにさうした世の誤解を受け易い職業へ入つて行つた輕擧を論じただけでその入つた動機に就いても充分同情すべきものがあるから只この上はどちらか一方をとること、若し今まで通り事務員として働くのだつたら、俸給の點には充分考慮するからとの親切な言葉だつた。萠子は厚い感謝に新な泪を覺えながら

〃皆樣の御厚意は本當に有難く思つて居ります。けれど今の私は喩へ昇給させて頂いても、それで家計を助けて行く事は出來ません。結局は何かに轉身しなければならないのですから、これからダンサーでやつて行かうと思ひます。〃

とはつきりと決心をのべ、さうして僅か一月の間に俸給の三ケ月分を働いた事もつけ加へたので支配人もそれではといふので、普通は結婚と病氣以外には給與しない退職手當も特別に出して呉れて、その日の中に〃依願退職〃の辭令を渡してくれたのだつた。

萠子は退職金で膨んだハンドバツグを小脇に抱へ、銀行での最後の辭令を胸にだきしめて本店の門を出たが、睡眠不足にも關らず、云ひ度い事を云つてしまつたあとの胸の清々しさはたとへやうもないものだつた。

（みんないゝ人達だ）

さう思ふにつけてもこれからは本當にしつかりやらなくては、と胸の緊る思ひがするこの辭令を見せたなら、新しい首途をきつと喜んでくれるであらう、瀧萠子がダンサーになる時の只一人の理解者であり贊成者であつた青年彫刻家瀧の姿を思ひ浮べながら、萠子は心も足も晴れ〳〵と輕かつた。

振仰ぐ夏の夜空には、明日の快晴を約束する無數の星屑が燦爛とかゞやき始めてゐた

（完）

中篇小說

生活の花 15

川内堯

カツト　池邊青李

「よし、何處へでも行こう！」

春夫は滿子のオーダアを取つてやり、窓にブラインドを御した。

「ちよつと待つてよ。」

滿子はもう笑ひ顔になつてハンドバツグを取りコムパクトを取り出すのであつた。

「女の子がお化粧すんのを傍で見てるの、ぼく好きさ。」

スピアをふかしながら、春夫はそんなことを言ひ、彼女の背後に寄り添ふてみたりした

夕近い街はもはや黄昏れて人々の足どりには何か追ひかけられてゐるやうな慌立たしさがあつた。春夫自身にも、それがあつた。だが、春夫はその自分を追ひ立てるやうなものに對してことさらに反抗したく、それ故にわざと、歩調をゆつくりと運んで、やがてM町の、一流のカフエたるサロン・アミイの扉を押したのであつた。

「いらつしやアい！」

そこには近頃春夫が二三度行つて顔馴染になつてゐる麻耶子と呼ぶ女給がゐて、けふは女連れの春夫をにつこりと迎へてくれた。

「さア、アミイに來てぼくのアミを紹介する！」

その顔貌と會話とに適度な現代性を持つてゐるにはしろ麻耶子が果してこの場合、春夫の言つた言葉を、言葉の正しい、本來の意味に解したかどうかは疑はしい。しかし、春夫はそんな事どうでもよかつた。ただ、おれはこんなダンサー風情の女をカフエに連れて來て、にや〳〵とやに下つてゐるのではないぞ、そんな風に見せかけてはゐるが、おれのこゝろの中はそんなものぢやないぞ、とさう、ただ自分一人で胸の奥底で叫び續けながら彼は幾本かの酒を倒し、滿子もまた數杯を傾けてその大きな黒い眼がいくらかどんよりと、あだつぽくなつて來た。

「新京のカフエどうなんです？」

滿子は麻耶子に向つては妙にあらたまつて、しかし親しい口調で、そんなことを訊いてゐた。

「たいしたことないわ」

はじめて會つたのだし、麻耶子の答は平凡だつたが、

「あたし、前には大連でやはりカフエにゐたのよ」

そんな滿子の話から、この二人の女は急に友達のやうな感情を持つて、いろ〳〵と今度は彼女たちの內輪の話をひそ〳〵と話しはじめた、それを春夫は

「やはり、こゝにも二匹のけものか。いや、それともこれは、まことに愛嬌のある神樣の化身か！」

と、そんな放埒な批評を、酒くさい息とともに吐き出すのだつた。

「さあ、田中さん、一緒にホールに連れてつてよ」

言つたのは麻耶子だつた。

明治節奉祝劇

明治の御代と乃木將軍（七）

糸井光彌編作

第二場

こゝは目白台椿山莊の元帥山縣有朋の邸宅なり舞台は黒幕の前に金屏風中央にテーブル、幕開くと山縣元帥テーブルの上手に腰かけ煙草をふかしてゐる……やがて乃木將軍登場……

元帥『よう、よく來られたまあお掛け

將軍『（一寸目禮して）はい、實は先日からお目にかゝり度いと思つて居りましたが今日は折よく御閑暇の御樣子でまことに好都合であります（風呂敷包みより一冊子を出し恭しく元帥の前にすゝめて）閣下にこれを一度……御覽を願ひたいと存じます御一讀の上にて若し採るべしとの御意見でございますならば、他に一部同樣の製本をいたしてありまするから、閣下の御取次を以て陛下の御手許に差し上げていたゞきたく思ひます（更に一部の新本を元帥の前に出す）

元帥『（その冊子を繙き二三條を讀みたる後）この書の題名は？

將軍『然やう……（微笑を含み）中朝事實の拔抄とでも申しませうか

元帥『（じつと將軍を見て）深き御旨意のあるところはわたくしにもほゞ察しられる、早速わたくしから獻上いたすことにします

將軍『有難う存じます

元帥『（顔を上げて將軍を見て）この書を一寸拜見してふと心に浮んだからこの際貴官にお話いたして置きたいそれは先帝陛下が貴官に對する優渥なる御恩召しのほどである

將軍『は？（愕然として驚き直立して）は！何事でありますか

元帥『明治三十九年十一月……の頃と記憶する（靜かに呼吸を貯えたる後肅然として云ふ）即ち貴官に、學習院長の御親任あらせらるゝ三ケ月ほど以前であつたと思ふ、恰も武官の更迭に當つて居つたので有朋より內奏いたして、乃木を參謀總長に御親補あらせられましては……と御上に申上げると、その時の御言葉に乃木については少し思ふところがある、參謀總長は他の者を以つて補任するやうにと嚴然たる御諚を下されたのである。

將軍『はい

元帥『わしは恐懼措くところを知らず退下の途中も乃木は何か陛下の御氣色を損じ申し上げたことがあるのではないか。然やうとも知らずに輕卒に御內奏に及んだのは甚だ恐懼に耐えぬ次第と……實は、當分その事に心中を痛めてをつた。然るに、越えて五六日の後、他の用務をもつて參內し、御拜謁を願つたところ、その日は殊の外天機麗はしく、有朋を近く召されて、御諚に、先日は乃木を參謀總長にとのことであつたが、乃木は學習院長に任命しようと思ふゆゑ、その旨を承知すべし。近く三人の孫たちが學習院に學ぶことになるのであるが、それ等の教育を托するには、恐らく乃木ほどの適任者はあるまいと思ふ。すなはち、彼を學習院長に任ずることにすると御諚を出された。

將軍『は…（直立せる將軍の身體に一種の戰慄を見る）

元帥『以上の事實は有朋一人の知ることゆゑ、今日貴官に御傳へして置く。實はその時まで明治の帝はさほどまで乃木に異常の御信任を置かせらるゝものとは存ぜずに居つた。貴官一代の榮譽であると共に故陛下御鑑識の深大なりしこと御拜察し得る。

將軍『はい。（滂沱として流るゝ涙のまゝ敬禮する）

元帥『この英明の大帝に奉仕して、貴官は四十年、有朋は……五十年に近い御恩寵をうけたのぢや…（訥々として言を吃らしつゝ）この度のこと……この度のこと…實に、申しやうが無い。何んとも……恐れ入つたる事ぢや…（俯向いて語を斷つ）

將軍『はい（俯向きたるまゝ希典はたゞ）苦しみを感じます。

結核

治療界の注目 細胞賦活療法

體内に抗菌性物質を增し結核菌の閉熄を圖る新療法

嘗て外國で或る死刑囚に就いて試驗した話ですが、死刑に處すべき囚人に目隱しをして、これからお前の腕の血管を切り、失血させて殺すと宣告した。さうして、さも血管を傷つけたらしい痛みを與へ、そら血が出る。一合出た、二合出た、もう五合になつた、一升だといふ樣に詐つた處が、囚人の顏色は刻一刻蒼白となり、終にはバッタリと倒れて息が絶えたといふことであります。

實際には一滴の血潮も失はずして、只死ぬといふ

暗示だけで氣死

したのでありますが、以前は結核病者の中にも、病氣その物は輕微であるにも拘はらず、肺病と診定されただけで、死刑の宣告を受けたものと心得、失望落膽して病勢を募らせ、恢復の見込なき重症に陷る方が少くありませんでした。

これでは結核のために斃れるのではなく、その影、つまり結核恐怖症といふ幽靈のために、命を取られるのも同然で、何等氣死と變るところがありません。

それといふのは、昔は結核の病理がよくわからず、ために療養の道なき不治の病と信ぜられてゐたからですが、幸ひ今日ではその病理が明かになつて、療養次第では不治の病どころか、却て癒り易い病氣であることが判明しましたので、肺病と聞いただけで、氣死する者は少くなりました。

では、結核がどうして癒り易い病氣であるかと申しますと、結核ほど多くの人が知らない中に罹つて、知らない中に

癒つてゐる病氣

はないのであります。即ち醫師が一般の屍體を解剖して見ますと、百人のうち九十人までは、生前一度は結核に感染して、肺臟中に小さな病竈——結節が出來、それが治癒した痕があります。

これが謂ゆる結核の自然治癒で、結核菌に侵された人の大多數が、此の經過をとつて知らない中に癒つてゐるといふ事は、取りも直さず結核治療の本道が、こゝにあることを示すものであります。故に明かに發病した結核でも徒らに恐怖せず、自然治癒の經過に合致するやうな療養をすれば、治癒すべきものであります。

では結核の自然治癒は、如何にして行はれるかといふと、人體には外部から侵入して來る、すべての有害物に對して、微妙な自然の防禦作用が備はつて居ります。

その中で最も重要なのは、病原菌を溶解し、殺滅しその毒素を打消す抗菌作用であります。そのうちでも一般によく知られてゐるのは、白血球の食菌作用で、白血球は病原菌を自分の體内に包み、殺してしまふ。これ等の抗毒作用がある程度まで繁殖を初めた結核菌を殺し、病竈を健全な細胞ですつかり包んでしまふのです。

それで結核の療養には、體内に

この抗菌性物質

の增加を計るといふことか、第一でありますが、その目的には最近極めて理想的なものが發見されました。

それはヘーフエといふ新發見の藥用菌ですが、これが如何に體内の抗菌性物質を增加させ、結核を自然治癒に導くに有效であるかを物語る、興味深い例證として、京都帝大醫學部の微生物學教授、木村博士が行はれた實驗を次へ述べて見ませう。

結核の胃腸障碍とその病原療法

各種動物の赤血球

駱駝 象 人 麝香鹿 山椒魚 蛙 鯉 鳩

赤血球の大きさは動物によつてそれぞれ異つて居ります

木村博士は多數の兎に、相當量のヘーフエ菌製劑を、毎日五日間續けて服用させた後、その血液像を檢べられた處、何れも

白血

球が著るしく增殖してゐて、中には服用前、一五、二のものが服用後の五日目には、七二、二即ち一躍四倍強に殖えてゐたと報告してゐられます。これは白血球だけの檢討ですが其他の抗菌性物質の增加を物語る例としては、ドイッチマン博士の創案に成る血清を擧げることが出來ます。即ちドイッチマン博士は馬にヘーフエを服用させて、その馬の血清を採り、流行性感冒、麻疹、チブス等の患者に注射して異常な好成績を得ました。

斯樣に勝れた効果があるのは、ヘーフエ菌の組成中に、我々の身體を組織してゐる全細胞の新陳代謝を旺にして、病傷細胞に新生の活力を與へる酵素といふ物質が、十數種にわたつて、豐富に含まれてゐるからであります。これが今日、

治療

界に酵素療法又は細胞賦活療法の名ある所以でありますが、また此の酵素は人體内の消化作用と同樣の働をも持つて居ります。

「ヂアスターゼ」の如く、食物中の澱粉を消化するだけでなく、澱粉は勿論、脂肪、蛋白質など食物中のあらゆる成分を、よく消化吸收させます。

從つて普通の胃腸病に用ひても、その効果は、在來の消化劑の比ではありませんが、殊に結核性の胃腸障害には、先づその病原たる病菌の毒素を除き、胃腸の組織細胞に働いて、直接胃腸の働きを丈夫にする一方、前述の消化作用によつて、食物の消化吸收をよくしますから、食慾が進み、便通が正常になり、膨滿感が去るといふ風に一劑で、三つも四つもの藥を兼ねた樣な効果を現はします。

以上は大體ヘーフエ中の酵素作用に就いて述べたのですが、これは又榮養原としても、稀に見る勝れた物で、即ちその

體内

には各種のヴィタミンを初め、含水炭素、脂肪、蛋白質、鹽類等、凡そ保健上に必要な榮養素は、殆ど漏れなく網羅されて居ります。

此のヘーフエを御存知ない方でも若素(わかもと)を御存知ない方はあるまいと思ひますが、此の若素(わかもと)こそ、右のヘーフエから創製された、眞正ヘーフエ菌劑であります。

それ故、この若素(わかもと)を服用しますと、抗菌性物質の增加、胃腸の强壯、榮養の充實等々の効果が綜合的に現はれ、各方面から結核菌の勢力を挫く結果、相當進んだ患者でも、結核特有の熱も下れば盜汗も止り、體重が增加するといふ風に、眼に見えて病狀が輕快して參ります。

この若素(わかもと)は東京芝公園大門際、榮養と育兒の會から粉末と錠劑の二種が何れも一日數錢にも當らぬ廉價で發賣されてゐますが、近來その聲價を利用して効果疑はしき類似品をお薦めする藥店もありますから御注意下さい。

結核熱の病理

結核の症狀のうちで、最も不快、且つ身體を衰弱させるものは、毎日午後に繰返される發熱ですが若素(わかもと)を服むと、だん／＼と熱が下つて、終には無熱になります。

一體結核の熱は、結核菌の體内毒素と異狀代謝產物の中毒、並びに其の刺戟現象に原因するもので普通の解熱劑でも熱は下りますがそれは當然出るべき熱を一時抑へるだけの話で、結核菌その物には何等の痛痒も與へないのです。然るに右の若素(わかもと)には何等解熱劑は含まれてゐないのに、熱が下るのですから、つまりそれだけ結核菌が若素(わかもと)のために減少したことを物語る譯であります。

喀血や胃腸障碍と闘ひ乍ら結核を療養

(東京) 淸川佐吉

私は廿五歳の青年ですが、一昨年の秋、ちよつとした風邪をひきましたが、なか／＼治らず不愉快な思ひで毎日勤めに出て居りました。

或日、大層忙しく、非常に疲れて家に歸りましたところ、熱が出たので寢込んでしまひましたが、翌朝ひどい咳と共に、血の塊りを吐いてしまひました。

醫者の注意により、それから絶對安靜を保ち乍ら、榮養療法に力をそそぎました。ところがたちまち運動不足から來る胃腸障害を起してしまひました。

それからは衰弱一層加はりました。(中略)或日新聞廣告により「錠劑わかもと」が結核に大層よいといふ事を知りましたので、醫師の藥と併用、毎食後五粒づゝ×ヶ月程服みましたら、非常に身體の具合がよくなり起きられるやうになり、だん／＼と働けるやうになりました。

しかしそれでも全然藥を止めてしまふ譯にもゆきませんが、經濟上の事がありますので、その後はづつと「錠劑わかもと」を服んでゐますが、以前に增したよい身體になり、風邪もひかなくなりました。「錠劑わかもと」の効果の偉大なることを確信致し(中略)感謝のあまり拙文にて御禮まで

防空デーを明後日に控へ交通整理班演習

新京署が考案の合圖燈で"進め""止れ"も手輕に

十二日午後五時より七時まで二時間に亘り新京に於て行はれる新京聯合防護團の防空演習燈火管制演習は着々準備を進められてゐるが、聯合防護團交通整理班は九日午後四時より一時間餘に亘り西公園前廣場に於て

新京署交通班につき交通整理に關する講習をうけた、出席者は聯合防護團本部高木中佐以下各分團長、副長、交通整理班長以下交通整理班五十餘名、新京署木内保安主任木下次席外交通班員にて長谷川交通整理巡査より交通整理に關する實際的の指導即ち

(一)止れの信號をすべき場合——止めんとする交通に正面し信號棒を右方又は左方水平に擧ぐ、信號棒を用ひざる場合は掌を前にし右手を右方又は左手を左方水平に擧ぐ

(二)一方交通に對し一般的に「止れ」の信號を爲すの外其の交通中の特定のものに對し「進め」の信號をなすべき場合——前號の信號をなすの外、進ましめんとするものに對し顔を正面し目を注ぎ左手又は右手を前方水平に擧げ掌を內にし下膊を上方に直角に曲げ之を前後に動かす

(三)一方の交通に對し一般に「止れ」の信號を爲すの外左方又は右方より來る特定のものに對し「止れ」の信號を爲すべき場合——第一號の信號をなすの外止めんとするものに顔を正面し目を注ぎ左手を左方又は右手を右方水平に擧げ掌を外にし下膊を上方直角に曲ぐ

(四)一方の交通に對し一般的に「止れ」の信號をなすの外左方又は右方より來る特定のものに對し「進め」の信號をなすべき場合——第一の信號をなすの外進ましめんとするものに顔を正面し目を注ぎ左手を左方又は右手を右方水平に擧げ掌を內にして上膊を上方に直角に曲げ之を左右に動かす

△信號機による信號

(一)赤色信號「止れ」は停止線に於て停止すべきことを、停止線なき場所に在りては道路の交叉點外に於て停止すべきことを示す

(二)黄色信號(注意)は道路の交叉點に在るものに對しては交叉點に入るべからざることを、交叉點に在るものに對しては交叉點外に出ずべきことを示す

(三)綠色信號「進め」は進行すべきことを示す

等を懇切詳細に亘つて説明を加へそれより六月防空演習の際新京署に於て考案した合圖燈を以つて實地につき指導し午後五時過ぎ終了した【寫眞は交通整理の講義と燈火管制に使用の合圖燈】

けふ午後五時から鐵道防護豫習

進行中の列車も區域內は參加

新京鐵道防護團は十日午後五時から六時まで燈火管制の豫行演習を實施するが同演習區域は滿鐵社線は南新京驛以北京圖線は東新京以西、京白線は寬城子以南で、演習期間に同地域へ進入した列車は各車とも速時演習に參加せしめ燈火管制を行ふ、列車以外の構內各驛區建物、沿線信號所等も最初警戒管制に始り情報に應じて空襲管制となる

燈火管制時中

諸車の速度と心得

新京聯合防護團の防空演習『燈火管制演習』は十二日午後五時より七時まで二時間行はれるが防空演習は一朝有事に備へるための平時に於ける我々の訓練であり最も重要なる務の一つである、今回行はれる燈火管制演習は防空演習中最も重要なるものであるから一般市民は防護團の注意に從つて一致協力せねばならぬ、燈火管制時に於ける自動車諸車の燈火速度制限並に一般心得は左の如く嚴守されたい

△自動車— 自動車の前照燈は警戒管制に入れば黒色晒木綿で覆ひ空襲管制に入れば消燈す、後尾燈同上車內燈は十燭以下のもの一個空襲管制に入れば消燈、警戒管制時の速度は二十粁以內を嚴守すると、追越は絶對になさざる事、交叉點では交通信號警察官の指示交通整理班員助言に從ひ安全なるを確めたる後通行すること交叉點を左折せんとするときは横斷歩道前に於て一旦停止し次の信號を待つこと、軌道上を通行せざること、蛇行又は客引は絶對に爲さざること空襲管制時に入れば道路左端部に一列に停車すること軍隊警察及消防の官用自動車は前照燈を點燈通行することを得但し前照燈は黒色覆を施すこと

△自轉車— 前照燈は警戒管制に入れば白色厚木綿を以て覆ふこと空襲時は消燈、通行は左側通行を嚴守すること、交叉點に於ては一旦停止し安全なるを確めたる後通行すること、追越を爲さざること、空襲管制時は降車し自轉車を押して一般歩行者と同樣左側通行すること

△牛馬車— 燈火は上空に向ふ光を阻止する覆をなすこと空襲時に入れば消燈、通行は警戒管制時に入れば適當なる掛け聲を發しつゝ注意徐行すること、牛馬を狂奔せしめざるやう注意すること、空襲時に入れば道路の左端部(但し歩行者の通行を妨げざる程度)に一列に停止すること

△大車— 燈火は上空に向ふ光を阻止する覆をなすこと空襲時は消燈警戒管制時に入れば適當の掛聲を發しつゝ左側を通行すること空襲時に入れば安全と認めらるゝ場合に限り徐行することを得

△洋車— 燈火は上空に向ふ光を阻止する覆をなすこと空襲時は消燈通行は警戒管制時は適當の掛聲を發しつゝ左側を通行すること空襲時に入れば安全と認めらるゝ場合に限り徐行することを得

新京一間堡間徐行解除

京濱線一間堡新京兩驛間新設線路は從來列車の最高速度二十二キロ運輸に制限されてゐたが同區間運行開始以來既に七十日を經過し路盤も相當固まつたので十日から同區間の徐行運行を解除し從つて新京發着京濱線は十日から左の通り時刻一部いづれも二分乃至五分短縮される(括弧內は從來の時刻)

ハルビンゆき
▲六百一列車新京發午前九時十分(九時五分)

新京着
▲あじあ新京着午後一時五十分(一時五十二分)
▲六百二列車午後七時四十分(七時三十五分)

松岡總裁 各社會事業團へ金一封寄附

松岡滿鐵總裁は九日新京特別市の各社會事業視察に際し、南嶺救濟院、仁慈堂、育嬰堂五台山向善化教育會の各經營者へ金一封を贈つた

來る十五日から戸外總動員提唱

今冬第一回の健康週間

滿鐵地方部では沿線一齊に來る十五日から二十一日まで一週間を今冬第一回健康週間として實施して在滿居住民に戸外總動員を叫びかける新京でも地方事務所社會係を主體に各種催し物が計畫されてゐる

中等校作品展 一般に公開

八日から新京中學校二階で開催中であつた全滿中等學校作品圖畫、手工、書方その他の展覽會は非常に盛會であつたが今十日午前九時から午後三時まで一般市民、父兄のため公開される

一夜がかりで放送局お引つ越し

けさの放送から新放送所で

新京放送局の電々本社內新スタヂオへの移轉は九日早朝より長谷川局長以下局員總動員の下に行はれた、何しろ放送プロは一分間たりとも中斷する譯にはゆかず、休む暇もない兩方かけ持ちの大仕事に、とり分けアナウンサー、技術部諸員の大車輪ぶりには目覺しいものがあり、九日夜最後のアナウンスを終へ次第、直ちに移轉を開始し、夜を徹して十日朝六時半よりの新スタヂオ內からの晴々しき第一聲に間に合はすべく、複雜微妙を極めた一切の準備が僅々六時間余の短時間をもつて全く完了されたのである、あらゆる近代的諸設備を誇る新スタヂオは從來の不便を一掃して中繼地元放送を問はず、新設備と相俟つて、精彩ある躍進の電波をラヂオファンの耳朶に華やかに贈ることであらう

居留民會 石黒理事辭任

新京居留民會では七日午後三時より民會々議室に於て第五回評議員會を開催、左記議案を審議可決し同五時三十分散會した、尚當日の出席評議員は十七名の中十五名である

第一議案 南嶺區長推薦の件
一、西村南嶺區長辭任に付き後任決定まで評議員山野喜三松氏を區長事務兼務とす

第二議案 襟章佩用正服着用範圍の件
一、本會設定の襟章は本會有給職員に限り佩用するものとす
一、本會の正服着用者は外勤事務に關係ある職員に限り着用するものとす

第三議案 貧困者救濟規定の件
一、實情調査の上適當な救濟規定を立案する(未可決)

第四議案 滿洲國々幣收納の件(原案可決)

第五議案 理事推薦の件 十一月七日附を以つて石黒理事辭任に付後任として四枝均を推薦し直ちに總領事館に認可申請をなした

第六議案 戸數割第三種賦課標準額査定の件(原案可決)

石黒氏は惜しい人

居留民會の話

居留民會では今回幾多の功績を殘して七日辭任した石黒前理事後任理事に認可申請中の四枝均氏について語る

石黒理事は長春居留民會時代より當會の事務に携つた人で今日まで滿十八年二ヶ月民會の爲に盡された溫厚篤實な人として內外に信望が厚かつた、今日一身上の都合で辭任されるのは當民會は勿論一般居留民も惜しみても余りあるところ、後任理事認可申請中の四枝均氏は元滿鐵鐵嶺地方事務所地方係長で經理並びに地方行政に通曉された人で今後の活躍を各方面から期待されてゐる

市公署が自慢の南嶺の救濟院

內容の整備にまづ驚ろく

特別市・社會事業見聞記(三)

最後に南嶺にある特別市立救濟院を見る、こゝは市公署が最大の自慢のものだけにその內容の整備は驚くばかりである、創立後既に十有余年、民國十三年長春慈善會の準備基金二萬圓を以て長春城西門外大佛寺內に孤兒院を設置したのが創まりで、その後民國十六年張書翰縣長の手を經て家屋六十余間を新設し事業を擴張し、同時にその名を長春縣救養工廠と改稱されたものである

▽……△

爾來遊民を收容して專ら技藝を修得せしめ、民國十九年七月より更に老廢人をも收容するに至り、名稱を長春救濟院と再度改め、ます〳〵事業の充實に努めつゝあつたが、大同二年七月一日特別市が接收するとゝもに同年八月國都建設局の都市計畫によつて南嶺に移轉し今日に及んでゐる、院長周永謙氏、主任清永順輔氏以下いづれも人間愛に立脚して協力一致奮闘をつゞけてゐるのは涙ぐましいばかりである

▽……△

いまその組織內容を見ると同院は庶務、救療、孤兒、殘老、濟良、授業の六部に分れてゐるが救療部では

一、生業不能にして扶養者なき浮浪者
二、阿片患者又はモヒ患者にして警察官署の入院を必要とするもの
三、免囚にして正業なく保護を要するもの

殘老部では右同樣の不具廢疾者、老衰者、濟良部では誘拐された婦女その他、孤兒部では七歳以上十五歳未滿の孤兒捨兒、迷兒など乞食となつた子供などはこゝで救はれたのである

▽……△

がこゝの誇りは何としても授業部だ、收容者の年齡、健康、性能及び從來の職などについてテストした上、織布、鞋工、縫工、印刷、木工、洋、絨氈その他農耕作業や院外勞働に使役して適當な作業に就かしめる そうして就業者に對しては日々三角乃至一角を賞與金として支給するが、これらはやがて退院の際に纏めて正業につくための資金になるのである、また孤兒部の收容者に對しては院內に教場があり國定教科書に基いて學業を受けしめてゐるなど、これだけ整つた施設は恐らく他には見られないであらう

▽……△

現在こゝに收容されてゐる者は救療部百七十九名、孤兒部九十一名、殘老部三十四名、濟良部一名で都合三百五名で年を追ふて增加してゆく傾向があるとのことである、更生した彼等は手に職を覺え、且つは收容中の賞與金を資本に眞人間として再び社會に現はれる、こゝ救濟院は彼等に取つては無上の天國であり、社會事業としては蓋し最も有意義且つ徹底したものであらう(寫眞は南關貧民收容所)

……(完)

前田營業部長令息刺殺犯人は被害妄想狂

【東京國通】去る十月廿二日滿洲電信電話會社營業部長前田直造氏四男東京高校生德君を刺殺した犯人田川清一は原宿署で取調中であつたが精神鑑定の結果被害妄想狂と認定八日警視廳から入院監禁命令が來たので同日署員に伴はれ松澤病院入りをした

西本願寺行事

長朝御話—午前七時より
日曜學校—午前九時半より
日曜講話—午後一時半より「人生唯一つの問題」—光岡慈昭

佐藤○隊 九日奉天凱旋

【奉天國通】今次の東邊道肅清工作に出動以來各地に轉戰幾多の武勳を樹てた三毛守備隊司令官麾下佐藤大尉以下○○名は九日午後三時奉天に凱旋した

愛よ戰ひとれ（七十六）

福田正夫　（讀賣上映畫化）　泉武久畫

鈴（三）

もし舞臺が形だけのものなら、珠江が扮してゐる若い漁夫が、つよく觀客を魅きつけなかつた筈である。——が、愛人を失つた若い漁夫の心は、また彼女の胸の中にも沁みこんでゐた。

「私も、私も！」

そして彼女はかすかの聲の方に視め瞳を向けたが、そこに立つてゐる青年も傷つた心には見定められなくて、——彼女はやがてしづかに悲しく舞臺裏にかくれて行つた。

「誰だらう？」

彼女はふしぎに思つた。

「もしかすると……」

彼女の胸が鳴つてゐたのは、邦雄の姿を描いたからである。——

彼女はその人をたしかめたかつたが、躊躇するのもうしろめいた氣持して、うなだれ靜かに部屋に歸つて行つた。

「邦雄さんなら逢へない！」

彼女はその間に、苦しい決心をかためた。

部屋には、女達がみんな歸つてゐた。まだ最後の一つの出し物が彼女達に殘つてゐたが、それまでは指導者である金井と女王になつたその劇の島ひろ江が、男の部役を相手に出演をつゞけるのであつた。

土座の女だけが、それに加はるため、珠江につとほゝえみを投げて、入れ違ひに出て行つた。

「お歸りなさい」

はしやいでゐる無邪氣な聲が、彼女を迎へた。

それは彼女の隣りに坐つてゐる少女で、幼い時から、金井について、十二三にしかたらないのに、舞臺にはすばらしい天稟を見せてゐた。少女はすぐ嬉しさうに、金井夫妻が彼女をほめてゐたといふのであつた。珠江は一座を見廻して、ファンにしては年を老つた四十男が、しきりに他の女を笑はしてゐるのをみつけて聲をひそめた。

「それ、みんなにいつてしまつた？」

「えゝ、とつくに」

「まあ！」

「みんなだつてよろこぶわよ」

少女はなんにも知らないのである。

珠江は、それがまた反感の種子になりはしまいかと、苦しさうにうなだれてしまつた。そしてつゝましく扮裝をといてから、すぐ道具方へ少女と二人で、それを返しに行つて歸つて來た。

「あ！」

彼女は部屋の前ではつとしたのである。

「おゝ、靜さん！」

ふりかへつたのは松本俊一であつた。

「やつぱりさうでしたね、やつぱり……」

「いらつしやいまし」

珠江はしづかに、俊一をみつめた。——俊一は頰を赧らめたのである。

「僕は新聞で寫眞を見て、すぐかけつけて來たんです。あゝ、とうとう僕はどの位、あなたを探したかわかりませんよ。伊東では逢へなくて殘念でしたが……」

「まあ、いらつしやつて？」

「えゝ、行つたんです」

彼はその話をしたのである。

「大瀬君も拳鬪の方へはいる事にして、あなたのために金をこしらへて、あとからまた……」

「大瀬さんが、まあ！」

彼女はぽつと恥しく頰を染めると、又すぐうなだれてしまつた。